

REC まちづくり研究助成研究報告書

屋外キャンドルの照明効果に関する研究

— まちづくりグループ〈点灯虫の会〉の活動 —

A Study of the Lighting Effects of
Open-Air Candles : Report on Community Making
Activities By 'Ladybirds Association in Asahikawa City

(解説)

持田 潤

Hiroshi MOCHIDA

Jan. 1995

静 修 学 園

北海道環境文化研究センター

HOKKAIDO RESEARCH CENTER OF ENVIRONMENT AND CULTURE

はじめに

この報告書は当研究センターのまちづくり研究助成により、道内まちづくりグループの人たちが行った研究活動の成果をまとめたものです。本稿『屋外キャンドルの照明効果に関する研究』は、北海道旭川市を拠点とするまちづくりグループ〈点灯虫の会〉（代表：黒田正子）による研究成果です。この報告書の特徴や意義については、「解説」として持田潤教授（建築学）に執筆していただきました。

道内まちづくりグループに対する当研究センターの研究助成事業は平成4年度にスタートし、3年目を迎えます。まちづくりグループの活動や地域の活性化を支援するのが目的で、平成5年度は数多くの応募の中から「点灯虫の会」のほかに、「十勝ナチュラルチーズ振興会」の『フランスの農家のチーズ料理研究』（代表：宮嶋望）が助成対象に選ばれました。後者については、本報告書の続刊として出版されます。ちなみに平成6年度は下記の活動が助成対象となっています。

○鹿追町ファームイン研究会（代表：中野一茂）『農家と都市住民との交流による農村の活性化に関する研究』

○まちづくり情報センター・さっぽろ（代表：柳田良造）『札幌の住宅地における参加型コミュニティの形成手法の開発』

研究活動は研究者や大学の教員という専門職者だけが担うものではなく、まちづくりグループのように水準の高い民間人にも、研究の機会が与えられるべきでしょう。在野で研究の契機を求めているばあいは、それを支援するのも大学の役割といえます。当研究センターではほかにも、研究自由人（留学研究員）の制度や、地域の生涯学習をサポートする移動大学講座、オープン・カレッジ等があります。こうした活動をつうじて、研究センターはまちづくりグループとネットワークを結び、大学との交流活動につなげています。

この報告書がまちづくりグループ、行政担当者、研究者などのあいだで広く活用されることを願っています。

北海道環境文化研究センター所長
大山信義

【解説】

旭川市 点灯虫の会

「屋外キャンドルの照明効果に関する研究」

持 田 潤

はじめに

この報告は平成5年度、点灯虫の会（代表 黒田 正子氏）が静修学園 北海道文化センターのまちづくり研究助成を受けて、取りまとめた成果の概要である。報告は表題の研究報告書のほか、「点灯虫の会 活動内容」（参考資料）および「旭川冬まつり、1994年2月10日から13日の『雪の夢灯り』イベント」の記録（ビデオ）から成っている。

報告書の主たる内容は、1）会の活動状況、2）活動の基本コンセプト、3）キャンドルの作り方とキャンドル設置補助金具の開発、4）イベント、5例の紹介および5）まとめから成っている。

以下に点灯虫の会の活動状況と成果について若干の解説を加えたい。

1. 「点灯虫の会」の活動経過

活動の始まりは、1990年2月8日のイベント「一晩だけの贈り物」である。その後、1992年4月1日に点灯虫の会が正式に発足し同時に全国に会員の募集を始めている。当初はすでに実施されていた下川町の「アイスキャンドル」に対して旭川市独自のキャンドルを如何に創りだすかが課題であったようである。当市は陶器開発の盛んなところで、北窓窯の吉田 時彦氏に依頼しキャンドル陶器が造られている。

会の発足以降、会の活動主旨（報告では「基本コンセプト」）が設けられ、今日もなお活発に活動が進められている。

主旨は誰にでも理解しやすく、かつ平易な表現で以下の8項目から成っている。

- 1、私たちは 灯りを通して 自然と人間の共存を考えたいと思います。
- 2、私たちは このページントを、ひとりひとりが楽しむことを基本として、皆で作り上げたいと思います。

- 3、私たちは 灯りを通して多くの人たちと、心のネットワークを作ります。
- 4、このページントは 純粋に「灯りをともす」ことにより、人々に親しまれ、感動を共感できるものと思います。
- 5、このページントは 次の世代に心の灯りと、ふるさとの灯りを残すことであり無理せず、息ながく続けていくことが大切と思います。
- 6、旭川で灯りをともし、人々が集うことひより、川の街、美しい灯りの似合う街、そしてやすらぎのある街のイメージを、広く世界に伝えていきたいと思います。
- 7、私たちは このページントを通して、自然と人にやさしい生活文化の提案をしていきたいと思います。(原文)

ここに掲げた主旨は、会のめざす目的または目標であり、灯りはその手段である。

従って研究報告題名の「屋外キャンドルの照明効果に関する研究」の照明効果とは単に照明上の、あるいはデザイン上の成果を意味するものではなく、主旨を目的と手段（灯り）に組み替えすると、以下のように読み取れ得る。

- 1、自然と人間が共に生きている証しを表現する・・・・・・灯り
- 2、個人の意志で集い、共に創る・・・・・・灯り
- 3、人と人の心を結ぶ・・・・・・灯り
- 4、親しみと感動を分かち合う・・・・・・灯り
- 5、世代に引き継ぐ・・・・・・灯り
- 6、人が集い、美しい街を演じ、世界を結ぶ・・・・・・灯り
- 7、都市の景観を形成する・・・・・・灯り

- 8、北の生活文化を創る・・・・・・灯り

点灯虫の会は、従って「灯り」を通して、1)、自然と人間の関わり(1)を、2)、人と人との関わり(2・3・4・5・6)を、3)、都市空間との関わり(7)およびこれらの主旨を包括した3)、北の文化の創造(8)を目指し、活動を展開し成果をあげてきた。

2. 点灯虫の会の活動状況

1) キャンドルの製作

表・1は1990～1994年2月13日の約3年間に製作されたキャンドルの数量を、各年次別、夏・冬別に示したものである。表中の「旭川キャンドル」、「キャンドル」、「夢灯り」が同種のキャンドルか或いは異なるもの

か報告からは明確に掴みがたいが、おおよその製作動向は以下のようなものである。

- (1)、3年間でおよそ30,000個が製作されている。
- (2)、1991年以前と以降では、1991年以降に急激に製作個数が増えている。
- (3)、また夏・冬別では、1990、1991年の期間は冬期の製作個数が僅かに多く、1992年以降になると夏期の製作が盛んになり、1992、93年共、各々冬期製作個数の約7倍に達している。
- (4)、どのようなキャンドルを製作したかを見ると、当初はアイスキャンドル（器部分が氷）、陶器キャンドル（器部分が陶器）を僅かに期間作っていたようであるが、92年以降は製作されず、代わって、「旭川キャンドル」、「キャンドル」（単にこのように呼称）および「夢灯り」の製作が盛んに行なわれるようになった。中でもキャンドルは最も多く、会の独自のキャンドルとして定着したようである。

2)、「灯り」イベントの開催延べ日数

表・2はイベントの開催延べ日数を年次別、夏・冬別に示したものである。表によれば、約4年間におおよそ100日のイベントが開催され、1992年には前年度の約5倍、次年度に対して3倍弱である。特に92年は点灯虫の会が正式に設置され、全国へ向けて活動を開始しかつ広い地域で展開している。

また夏・冬別では両シーズンとも、ほぼ同日数であり、夏期は7～8月に、冬期は2～3月にイベントが集中して開催されている。

3) 、キャンドル点灯の箇所

キャンドルの点灯を実施した箇所は73（箇所）に及ぶ。これを道内、道外および国外別、年次別にみると（表・3）、以下のようなものである。

- (1)、1990～1993年までの4年間に総点灯箇所数、73箇所の内、道内 60、道外 11、国外 2である。道内での点灯実績は全体の約80%を占め、これを旭川市、旭川市周辺市町村およびその他道内市町村別にみると、地元旭川市での点灯が70%を占め、他はその他道内市町村 10%の割合である。
- (2)、また年次別にみると、1991年から急速に点灯箇所が増え、1993年には、点灯当初の1990年と比較して実に4倍に拡大している

(3)、1990年には地元旭川市と滝川市のみで実施していたが、1991年には道内をはじめ道外、北海道と姉妹州の中国 黒竜江省にまで開催箇所を拡げ、19箇所に及んでいる。

(4)、1992、93年にはさらに実施箇所を拡大し、各々、21、24箇所である。このように極めて短期間に点灯箇所が増え、かつ広域に拡大したのは点灯虫の会の代表をはじめ会員の活動に対する熱意と人人への共感によるものであろう。

4)、「灯リイベント」の呼称

「灯リイベント」にどのような呼び名をつけたかを見ると(表・4)、最も多い呼び名は「灯りで乾杯」(!のあるものとないものがある)、次いで「北都あさひかわ夢灯り」であるが、これらには年次や季節名が付記されている。

「灯りで乾杯」と北都あさひかわ夢灯り」の使い分けは、おおよそ夏期には「灯りで乾杯」を使用しているようであるが、特に決まっていないうようである。

5)、キャンドルとキャンドル取り付け金具の製作

キャンドルの製作方法は旭川市在住の横山 憲夫氏の考案によるものである。製作に使用する材料は、どこの家庭でもある、使い残しの蠟と牛乳パックで、牛乳パックは溶かした蠟を成形するための型枠材として使用している。

従って誰にでも簡単に作られ、かつ再生利用を計っている。またイベントの開催場所の地形を配慮してキャンドルを取り付ける金具を独自に製作している。金具は2種類あり、ひとつは傾斜地にキャンドルを水平に立てるための断面が直角三角形の台で水平面を確保するものである。もうひとつは長さの異なる3タイプの真鍮棒を考案し、この真鍮棒の上にキャンドルを立て「高さ」を得るものである。3種類の棒は種々組み合わせ、キャンドルの高さにバリエーションを与え、平面的な灯りから立体的な灯りの演出効果を高めている。またキャンドルは蠟の薄い白色半透明の中から光るため、提灯や行灯の光に類する「柔らかい」間接照明方式である。

6)、「灯リイベント」の特徴

1990年から1994年2月までに実施された各イベントの活動内容、開催場所などから、(1)、旭川市内のどこで(開催場所)実施されたか (2

)、同時点灯(旭川市と他の市町村または国外でキャンドルを同時、一斉に点灯する方法) (3)、どこから旭川市を来訪し、「灯りイベント」に参加したか (4)、点灯虫の会員がどこイベントに参加したか (5)、その他活動や成果にどのようなものがみられるか等、活動の特徴をみると表・5のようである。この表から以下のようなことを読み取ることができよう。

(1)、地元旭川市内では、主に市街地の公共用地が使用され、7条緑道、7条5～8丁目、JR旭川駅周辺がほぼイベントの開催場所として定着している。また開催場所は年々拡大し、1992年以降には、更に旭川市役所広場、東海大学キャンパスが加わっている。

イベントの開催動機には、会が自主的に開催した例が多いが、中には例えば1991年の市内のツインハーフ橋の渡橋式、1992年、東海大学建学祭、1993年、ロータリークラブ20周年記念式典への参加等、他の催しに要請参加しているものもある。また1990年から継続している、特別養老老人ホーム 緑風苑への「灯り」プレゼント活動成果に上で付記しておきたい。

(2)、「同時点灯」は極めてユニークなやり方である。1991年からこの方法が見られるが、当初は岩手県 滝沢村、盛岡市を除くと先ず道内から行なわれたようである。

1992年には同時点灯は急速に増え、道内から奄美まで、ドイツ、スイス、リヒテンシュタイン、ニュージーランド、中国 黒竜江省にまで及んでいる。(ただし国外は現地と結んで点灯したのか、或いは在日大使館で実施したかについては報告書では明確でない)

またいくつかの場所では、「夢灯り」と呼称し、他の様々なイベントに協賛している。

(3)、旭川市のイベント参加、旭川市から他の開催場所のイベント参加に見られるように、相互に交流し合うことも年々活発になっている。

旭川市周辺市町村との関係では、特に下川町、1992年以降では、更に東川町が加わっている。また例年開催される「道庁 赤レンガ音楽祭」には1991年以来、毎年参画している。

(4)、「灯りイベント」の積み重ねは、イベントに対する評価を高めたのみならず旭川市の地名度を知らしめ、各地でのイベントではTV中継や取材を受けている。また例えば、1992年の「創作舞踏 夢灯り

」(踊：萩井 栄秀、演出：駒井 義之)や「加藤 登紀子 コンサートへの参加」のように新たな分野との積極的なジョイントもみられる。

1993年には、このような点灯虫の会の活動と成果に対して、旭川観光顕功奨励賞を受賞、NHKニューフロンティア佳作入選を果たしている。さらに国外ではラトビア文部大臣に「灯り」をプレゼントを行ったり、ユニークな活動では、ギネスブック本部に「世界一長いキャンドル」として記録の登録をおこなっている。

7)、イベントの演出と都市景観

報告に掲載された5例はいずれも旭川市で実施されたイベントで、以下のよ
うに2例は夏期、他の3例は冬期である。

夏期：93年8月6日 「北都あさひかわ 夢灯り」 7条緑道5～8丁目
93年8月7日 「灯りで乾杯」 石狩川右岸 リベライン 旭川パー
ク ドリームランド

冬期：93年2月10～14日 「雪あかり・・・灯りで乾杯！」 常盤公園
旭川冬まつり協賛「あさひかわ雪あかり93」
：93年12月20～24日 「イブの雪灯り」 旭川市役所前広場
：94年2月8～13日 「雪の夢灯り」 7条緑道5～7丁目

5例の中から、93年8月7日の「灯りで乾杯！」と同年2月10～14日の「雪あかり・・・灯りで乾杯！」の2例を比較してみよう。前者は夏期に石狩川河辺で、後者は冬期に市内の常盤公園で開催されている。いずれも事前に綿密な計画がなされ、スケッチや計画図からも推察することができる。

イベントには一般にイメージを描くことが必要であるが、2例の前者は、「旭川の七夕」と題した具体的な題名が付けられており、企業数社が協賛した大規模なものである。記録写真から推察すると、観客者が全体のデザインをどう評価したか伺い知ることはできないが、出展された各企業や会の「灯り」群を楽しいものにしたことは疑う余地がない。展示会場が傾斜のある川岸であること、「灯り」の出展数が多いこと、建物のライトアップ、そしてそれらの川面への映り効果の予測等、多くの苦勞を克服して実行された点を高く評価したい。

これに対して後者は冬期に公園が舞台である。木々と雪原をキャンバスに「冬の幻想」・「冬のロマン」を醸し出している。記録写真からは「雪原から

生まれた冬の蛍が乱舞する・・・幻想」、「冬の妖精が冷え澄んだ夜空を遊び戯れる・・・ロマン」を思い起させ、北国独自の世界を創っているように感ずる。

3. キャンドル イベントの評価

イベントの評価は評価の視点と方法によって異なるが、ここでは点灯虫の会の発足当初に定めた、8項目の基本コンセプトを評価の軸とするのが妥当であろう。

評価の第一は極めて短期間にイベントの開催回数、開催場所、イベントの種類と内容およびキャンドル製作講習会の開催等、精力的に推進し、イベントを定着させ、同時に道内、道外を問わず知れ渡っていることである。地元旭川市民はもとより開催地の市町村民と相互交流を計り、また旭川市の、ひいては北海道の「冬の生活の楽しさ、美しさ、良さ」を知らしめたことも評価したい。

第二にイベントへの参加が容易であることから、特定に人々に偏ったイベントに落ちることがなく、お年寄りから子供まで誰でも気軽に参画し得ることを上げたい。

第三に容易に参画し得る要件としてキャンドルの製作を取り上げたい。どこの家庭にもある、使い残しの蠟と牛乳パックを利用して簡単に作ることができる方法を採用していることである。

表・1 キャンドルの製作状況

単位：個

		1990	1991	1992	1993	1994	合計
陶器 キャンドル	夏						
	冬	6					6
		6					6
アイス キャンドル	夏		a				a
	冬	13	100*				113*
		13	100*+a				113*+a
旭川 キャンドル	夏			112			112
	冬				220	a	220+a
				112	220	a	332+a
キャンドル	夏			10,767	11,210		21,977
	冬		300	1,952	1,770		4,022
			300	12,719	12,980		25,999
夢灯り	夏	30	800	112	750		1,692
	冬	76	695				771
		106	1495	112	750		2,463
合計	夏	30	800+a	10,991	11,960		23,751+a
	冬	95	1,095+a	1990	1990	2,250+a	7,412+a
		125	1,895+a	12,943+a	13,950	2,250+a	31,163+a

注・1 キャンドルの呼称は原文のままとし、個数をカウントした

注・2 *印は下川、当麻町が製作し、参加した分である

注・3 a印は製作した記述はあるが、個数の不明のものである

表・2 「灯り」イベントの開催延べ日数

		1990	1991	1992	1993	1994	合 計
開催 日数	夏	2	5	23	12		42
	冬	2	5	30	16	7	60
		4	10	53	28	7	102

注・1 夏期は7～8月、冬期は2～3月開催が多い

注・2 開催日数の記録が読み取れないものもあるので、合計値はもっと上回る

表：3 キャンドル点灯の開催箇所

単位：箇所

		1990	1991	1992	1993	1994	合 計		
道内	旭川	5	9	15	11	2	42		
	旭川 周 辺 市 町 村		3	下川 当 麻 美 瑛	1	東川 下 東 川	3	7	
	その他 市 町 村	1	滝川 4	札幌 滝川	2	石狩 札幌	4	霧石 札幌 河	11
小 計		6	16	18	18	2	60		
道 外			2	盛岡 滝沢 (岩手 県)	3	東京 岩手 奄美	6	盛岡 軽井 沢 東京 北九州 松戸	11
国 外			1	黒竜江 省	1	ラトビ ア		2	
合 計		6	19	22	24	2	73		

注1 表中の数値は延べ開催数であるが、当該市町村で2回以上実施している場合がある

注2 「ラトビア」についてはラトビア国が在日ラトビア領事館不明である

表・4 イベントの呼称

開催日	イベントの呼称
1990 2/8 2/12	「一晩だけの贈り物」 「北都あさひかわ夢灯り」
1991 2/11 8/4 12/24	「北都あさひかわ夢灯り'91・冬」 「'91夏・北都あさひかわ夢灯り」 「夢灯り」
1992 7/11~12 7/31 8/1 8/2 12/20~25	「灯りで乾杯」 「灯りで乾杯」 「'92夏・北都あさひかわ夢灯り」 「灯りで乾杯」 「灯りで乾杯！旭川キャンドルツリー」
1993 2/10~14 8/7 8/8 12/20~24	「雪あかり・・・灯りで乾杯！」 「北都あさひかわ夢灯り」 「灯りで乾杯」 「イブの夢灯り」
1994 2/8~13	「雪の夢灯り」

表・5 「灯り」イベントの特徴

	1990	1991	1992	1993	1994
1旭川市内 開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・7条6丁目 ・7条6～8丁目 ・JR旭川駅構内 ・特別養護老人ホーム緑風苑 	<ul style="list-style-type: none"> ・7条緑道6丁目 ・7条緑道5～7丁目 ・JR旭川駅構内 ・特別養護老人ホーム ・ツインハーブ橋(渡橋式) ・JR旭川駅前 	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤公園 ・緑ヶ丘 ・7条5～8丁目 ・リベライン旭川パーク・ドリームランド (牛朱別川) ・特別養護老人ホーム ・東海大学(建学祭) ・市役所前広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤公園 ・ニュー北海ホテル(南ロータリークラブ 20周年記念式典) ・旭川7条5～8丁目 ・旭川パークドリームランド ・東海大学(建学祭) ・特別養護老人ホーム ・旭川市役所前広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川市民会館(成人式) ・旭川7条5～7丁目
2他の場所 と 同時点灯		<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県 滝沢村 ・美瑛町 ・滝川市 ・中国黒竜江省、札幌中国領事館 ・盛岡市 	<ul style="list-style-type: none"> ・道新旭川支社 ・JR旭川駅 ・HBCメディアプラザ ・道庁赤レンガ(音楽祭) ・石狩町花川児童会館「夢灯りコンサート」 ・「みちのく岩手 夢灯り」 ・「とこなつ奄美 夢灯り」 ・ドイツ、スイス、リヒテンシュタイン、 ニュージーランド、中国黒竜江省 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡、浦河、桂井沢 ・旭川中央郵便局、NTT旭川支店、盛岡、 札幌、東京、北九州、松戸 	
3他の場所 から旭川 市に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・下川町「日本祭り・旭川」 	<ul style="list-style-type: none"> ・下川、当麻町「北部あさひかわ 夢灯り'91 冬」 ・下川町 	<ul style="list-style-type: none"> ・下川町 ・東京(キャンドル クラフト 協会) (嘉悦女子短大) ・名古屋、熱海、東京、倉敷、三重 函館、札幌 		
4点灯の会 が他所の イベントに 参加	<ul style="list-style-type: none"> ・滝川市(北門借金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・下川町「アイスキャンドル フェスティバル」 ・札幌市「知事公館 夢灯り」 ・札幌市「道庁赤レンガ 音楽祭」 	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市「道庁赤レンガ 音楽祭」 ・東川町「梵鐘とシンセサイザーの出会い」 	<ul style="list-style-type: none"> ・零石(アルペン世界選手権) ・下川町 ・札幌市「道庁赤レンガ 音楽祭」 ・札幌市(ファクトリー) ・東川町 	
5その他の 活動		<ul style="list-style-type: none"> ・「川と水辺のフォーラム」 ・夢灯りキャンドルスタンド制作協力(岩手) ・盛岡市の夢灯り、NHKが中継 	<ul style="list-style-type: none"> ・「点灯虫の会」設立、全国に向け会員募集 ・「夢灯り フォーラム」 ・HBCメディアプラザ お祭り出展 ・「'92国際見本市出展」 ・「創作舞踏 夢灯り」(東京) ・ラトビア文部大臣に寄贈 ・ギネスブック本部に「世界一長いキャンドル」 で記録登録 ・旭川市からラトビアに灯りプレゼント ・加藤登紀子イベントに参加、「コンサート」開 催 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンドル制作参加募集 ・緑ヶ丘キャンドル制作参加募集 ・旭川市ライブジヤム(江戸別)参加募集 キャンペーン ・旭川観光功賞受賞受賞 ・NHK函館 取材 ・「NHKニューフロンティア」佳作入賞 	

点灯虫の会
(代表 黒田正子)

「屋外キャンドルの照明効果に関する研究」

目次

はじめに

1. 活動の趣旨と基本コンセプト	14
2. キャンドルの作り方	16
3. キャンドル設置 補助器具の開発	17
4. キャンドルによる冬の景観デザインと夏の景観デザイン	20
5. 『雪あかり・・・灯りで乾杯!』 (事例・1)	21
6. 『北都あさひかわ夢灯り』 (事例・2)	28
7. 『灯りで乾杯』 (事例・3)	30
8. 『イブの夢灯り』、『雪の夢灯り』 (事例・4、5)	43
9. まとめ	51

[参考資料]	1. 『点灯虫の会』 活動状況
	2. ビデオテープ

『ふるさとの「灯り」 みえますか
あなたの心に「灯り」 ともっていますか
誰かの心に「灯り」 ともしてみませんか』



人・地域・自然と
ふれあう楽しさを
つたえたい・・・
つくる喜びを
おしえたい・・・
子どもたちに！！

〔活動の趣旨〕

旭川には「日出ずる川」という意味があり、旭川には「光」のイメージがともなっています。

・光を色温度であらわすと、朝、日の出の頃の太陽光の色温度は2000ケルビンで、蠟燭の光の色温度とほぼ同じです。（「あかりと照明の科学」近田玲子共著）

「日出ずる川」の旭川とキャンドルが無理なく結びつくのです。

誰でもが簡単に作れるという観点から、身近にある牛乳パックを利用してキャンドルを作り、市民参加型のイベントをすることで、旭川に「灯り」のイメージをつけていけるのではないかと考えます。

灯りを通してあたたかい心の交流をはかり、子どもたちにはふるさとの文化として引き継いでいけたらと思っています。

〔基本コンセプト〕

- ・私たちは 灯りを通して、自然と人間の共生を考えたいと思います。
- ・私たちは このページントを、ひとりひとりが楽しむことを基本として、皆で作ってあげていきたいと思っています。
- ・私たちは 灯りを通して多くの人たちと、心のネットワーク作りをします。
- ・このページントは 純粹に「灯りをとむす」ことにより、人々に親しまれ、感動を共感できるものと思います。
- ・このページントは 次の世代に心の灯りと、ふるさとの灯りを残すことが夢であり無理せず、息ながく続けていくことが大切と思います。
- ・旭川で灯りをともし、人々が集うことにより、川の街、美しい灯りの似合う街、そしてやすらぎのある街のイメージを、広く世界に伝えていきたいと思っています。
- ・灯りを自然のなかにデザインする事により、都市景観形成活動のひとつとしていきたいと思っています。
- ・私たちは このページントを通して、自然と人にやさしい生活文化の提案をしていきたいと思っています。

〔手作りキャンドル〕 旭川オリジナルで考案しました。(考案者 横島 憲夫)

・空の牛乳パックを型に使い、中に融けた蠟 (WAX) を流し込み、固めて蠟の箱を作り、中に芯になる棒状のキャンドルを立てて使用します。

(作り方は別紙参照)

・幼児からお年寄りまで、誰でも簡単に手作りすることができます。

・一度使ったキャンドルでも、外側が融けにくい材質でできていますので、中の芯キャンドルを取り替えば3回ぐらいは使用できます。

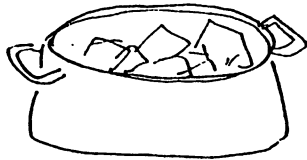
(芯キャンドルの交換が簡単にできるように、底に芯キャンドルの直径分の穴をドリルであけ、その穴に立てるようにします。)

・使用したキャンドルはとかしてWAXを再生することができます。

キャンドルの外側がこわれたり、融けたり、よごれたら全部とかしてからリードペーパーで漉します。再生するとWAXの色が多少灰色がかってきます。

〔古キャンドルを再生する〕

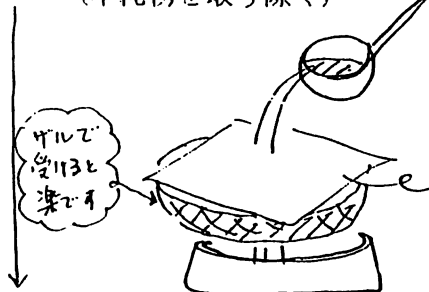
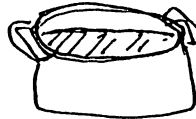
1. 古キャンドルをなべに入れて火にかけてときます。



*とけたキャンドル (WAX) が高温にならないように注意して下さい。

2. とけたWAXをリードペーパーで漉します。

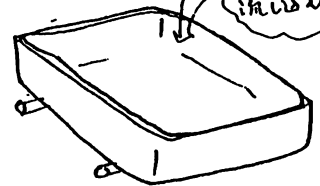
(不純物を取り除く)



ヤレて
空っぽと
染まら
ない

3. 再生WAXをストックするときはステンレスのバットに流し込みます。

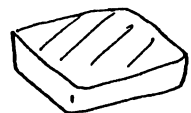
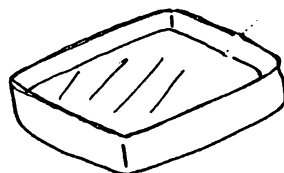
割りバシ2本E
下に漉しておくと
早く冷えます



とけた
WAXを
流し込む

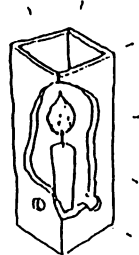
3. 漉したWAXをなべでうけて直接キャンドル作りに使用します。

4. WAXが冷えて固まるとバットをさかさまにして底をポンとたたくと板状のWAXがはずれます。



再生WAXの板の
出来上り

キャンドルの作り方



材料 / WAX, 芯キャンドル (燃える部分)

準備 / 牛乳パック (1000ml), コンロ, なべ, バケツ (水), カッター, 彫刻刀

* 空の牛乳パックを「型」として使います。

下準備として、牛乳パックの上部を開いてよく洗い、その後よく中を乾かしておきます。

芯キャンドル1本につき、牛乳パック1個を用意します。

* 作り方

1. キャンドル1本分の材料 (WAX) を牛乳パックに入れて 湯せんでときます。(45度で液状になります)



2. WAXがとけたら 牛乳パックのふたをきちんとしめます。



小さいお子さんがする場合は ガムテープでフタを止めてあげましょう。

3. パックを両手ではさんで ゆっくりまわしながら WAXを内側に流しつけていきます。(10~15分位)

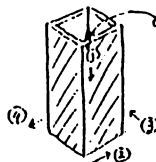
4. WAXが固まって動かなくなったら 上部のフタの部分をカッターで切り落とします。

※ カッターの刃がすべりやすいのでケガのないように注意してください。



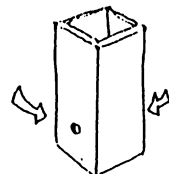
カットした部分についたWAXは 芯キャンドルを立てる時に使うので捨てないように。

5. 水を張ったバケツに パックの形がゆがまないように 静かに入れて WAXがすっかり冷えるのを待ちます。
6. 冷えたら 外側の牛乳パックをはがします。カッターを使ってきれいにはがせます。



紙が二重になっているところの内側に カッターの刃を入れて 下までカットします。

7. WAXの箱が出てきます。
8. 1/3くらいの高さのところに 二方2ヶ所の風穴を彫刻刀であけます。



9. 最後に真ん中に芯キャンドルを立てて出来上がりです。



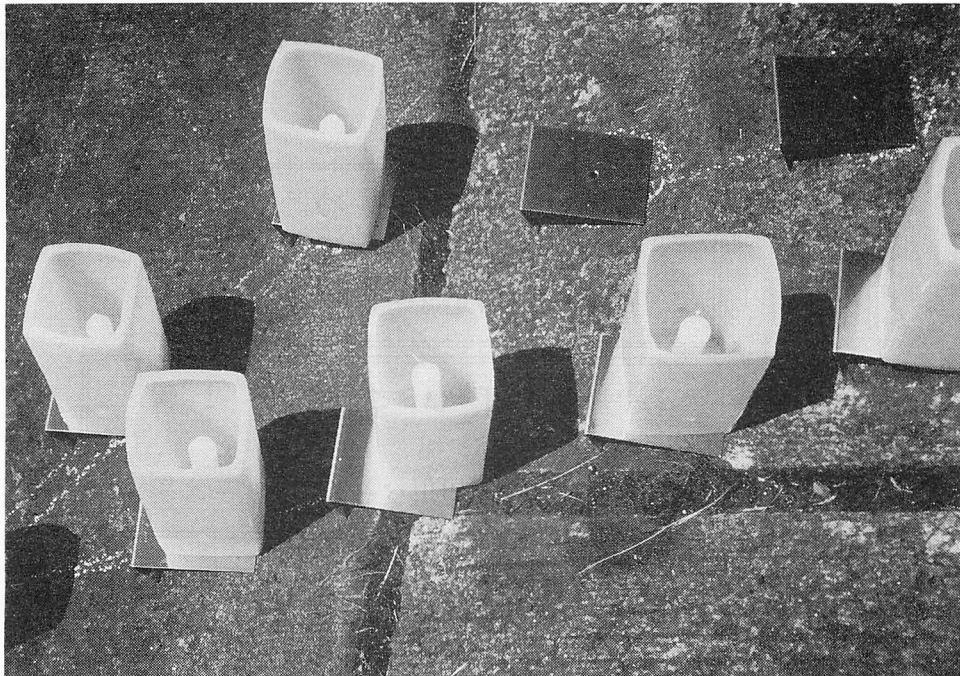
とかけたWAXを流して立てます。

芯キャンドルはまっすぐ立てるように気をつけます。

10. 油性のマジック、水性アクリル絵具、クレヨンなどで 楽しい絵や、字をかいてください。



斜面の芝の部分には、スティックでキャンドルを立てていきます。



コンクリート部分には、補助金具を使ってキャンドルを置いていきます。

キャンドルによる

冬の景観デザインと

夏の景観デザイン

冬、真っ白な雪面に紫色の影を落とし、オレンジ色に輝く灯り、そして夏、芝生の上にこぼれる灯り、石狩川の川面にゆれる灯り、自然の中に置かれたキャンドルの灯りは私たちに感動を呼び起こしてくれます。キャンドルの灯りは生きているあかりです。見る人それぞれの心に祈りや感慨、感動を与えてくれる不思議なあたたかさを持っています。

冬

『雪灯り・・・灯りで乾杯！』

1993. 2. 10~14

旭川・常盤公園

『イブの夢灯り』

1993. 12. 20~24

旭川市役所前広場

『雪の夢灯り』

1994. 2. 9~13

旭川・七条緑道5~7丁目

夏

『北都あさひかわ夢灯り』

1993. 8. 6

旭川・七条緑道5~8丁目

あさひかわ夢灯り『灯りで乾杯！』

1993. 8. 7

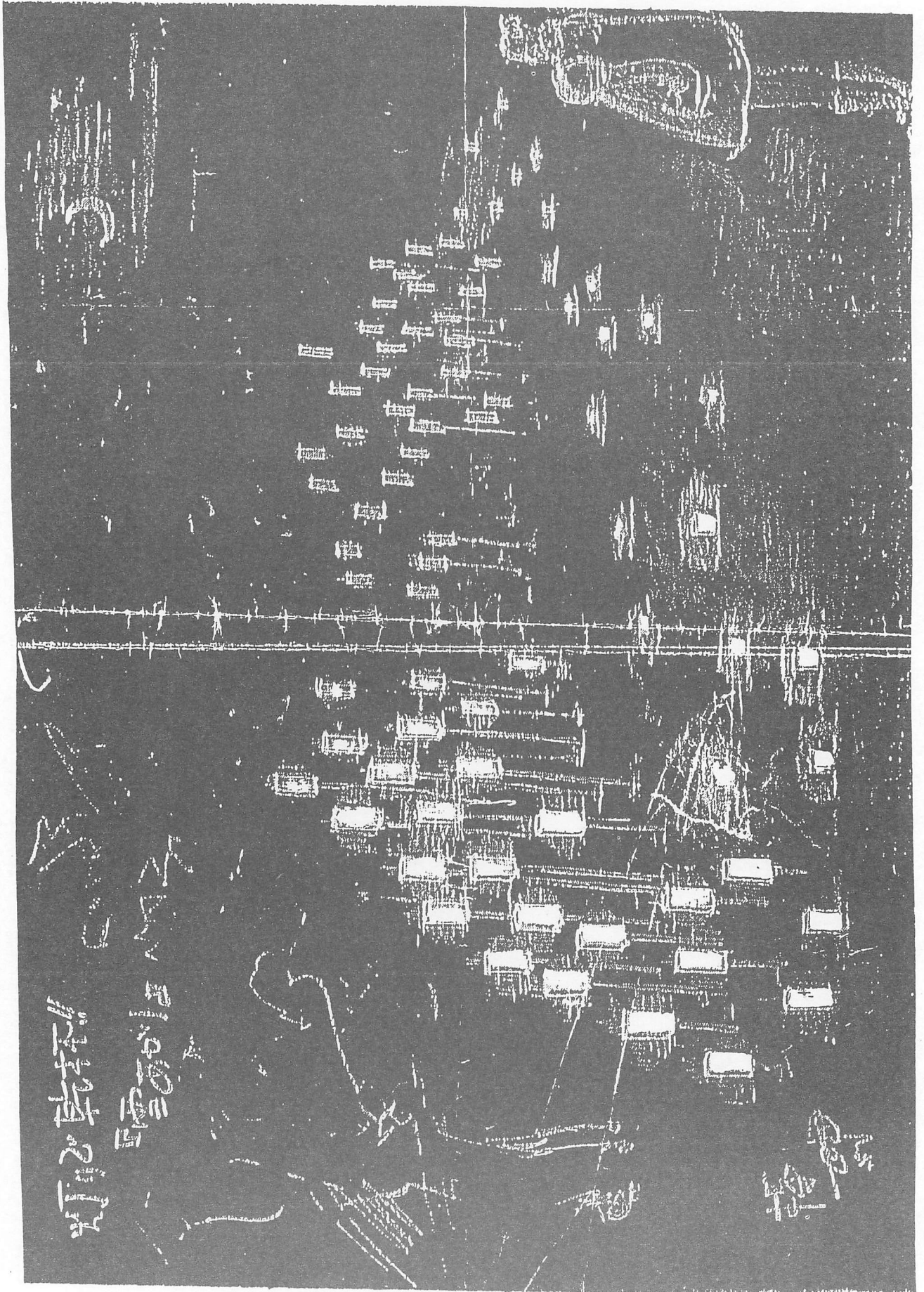
旭川・石狩川右岸 リベライン旭川パーク、ドリームランド

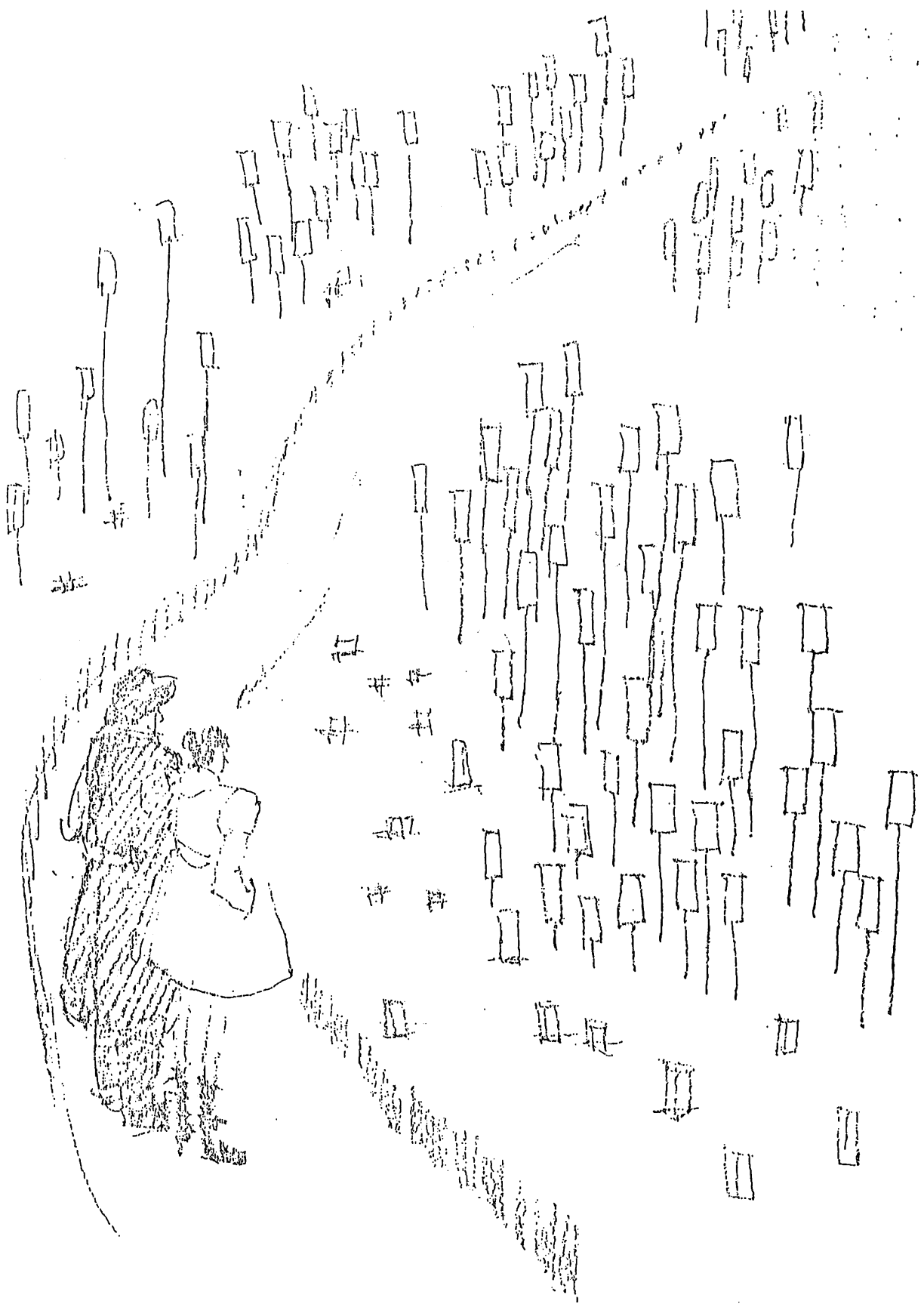
『雪あかり・・・灯りで乾杯！』

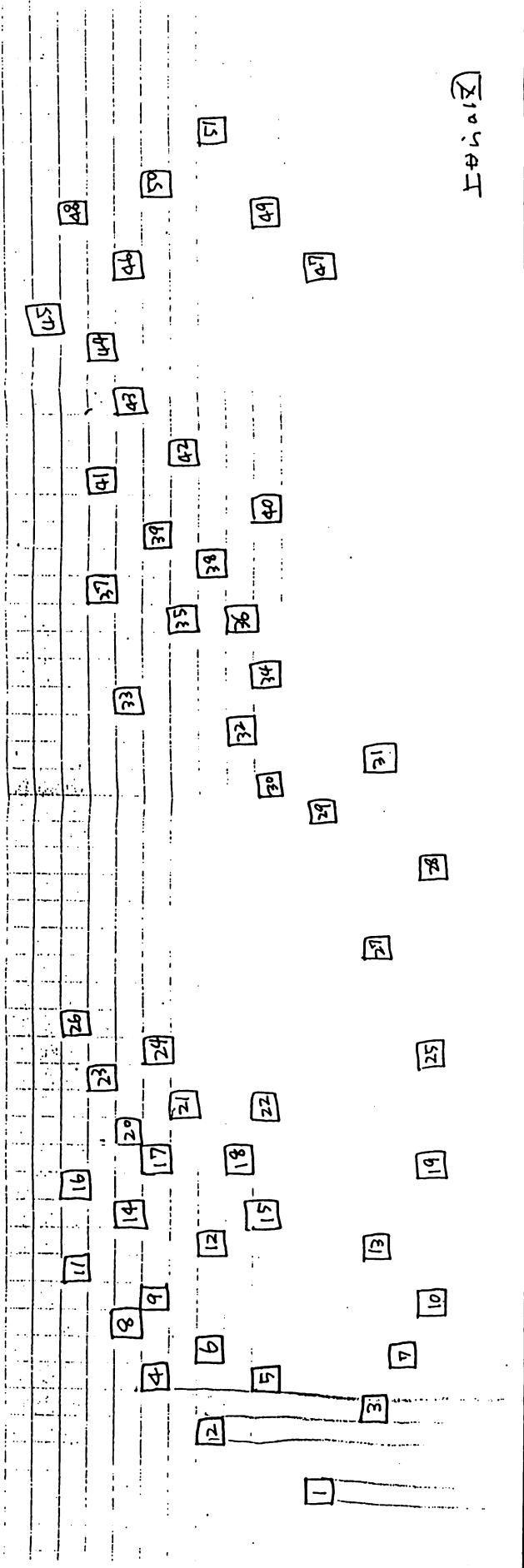
旭川冬まつり協賛「あさひかわ雪あかり 93」に参加

1993. 2. 10～14

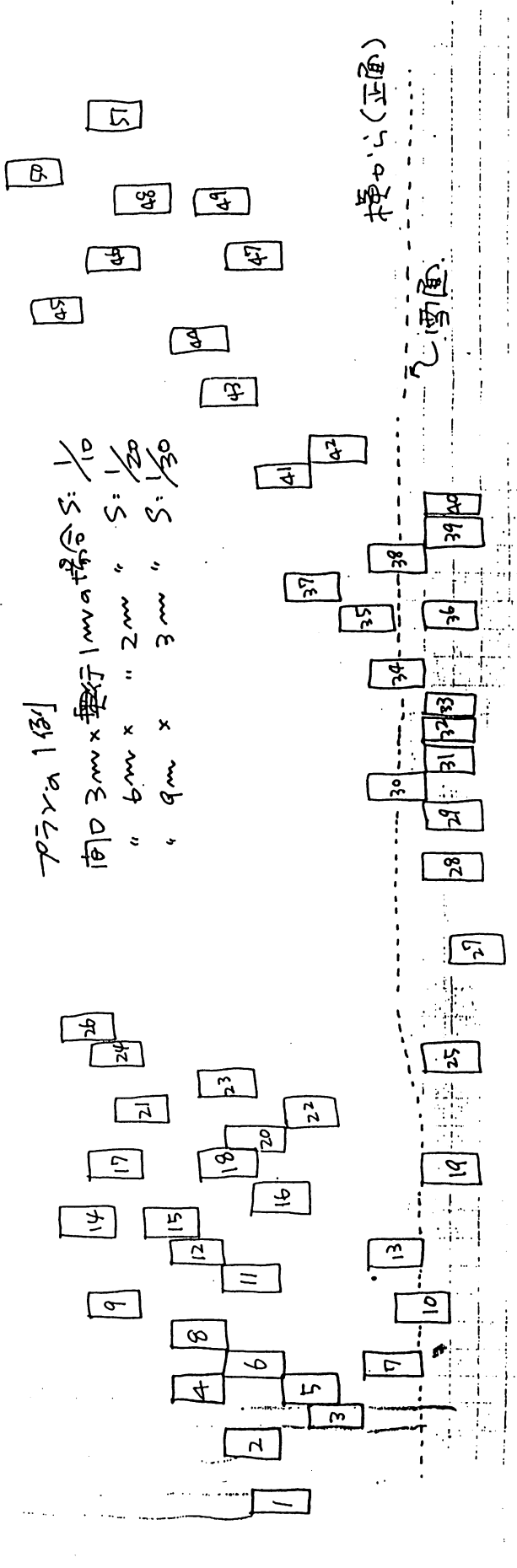
旭川・常盤公園







上田地区



横口(正面)

『雪あかり・・・灯りで乾杯！』



旭川冬まつり協賛「あさひかわ雪あかり '93」に参加

1993. 2. 10～14

旭川・常盤公園

- *雪とキャンドルの灯りの取り合わせの美しさを表現
- *公園に降り積もった雪をそのままステージとし、キャンドルを主役にして灯りを演出
- *キャンドルスティックを使って灯りを空間にレイアウト

2/9	会場準備	点灯リハーサル
10	キャンドル	200本点灯
11	キャンドル	240本点灯
12	吹雪のため	点灯中止
13	キャンドル	200本点灯
14	キャンドル	280本点灯

- ・雪面に足跡をつけないように注意しながら、毎日キャンドルの設置と撤去をしました。
- ・芯キャンドルは4～5時間もちますが、毎日新しいものと交換しました。（事務局に持ち帰り芯キャンドルの取り替え作業）
- ・観客、とくに子どもがステージの雪の中に入ったり、足跡をわざとつけていくので、スコップとホウキを持って雪をならしたり、入らないように注意しました。
- ・撮影のためにズカズカと雪の中に踏み込んでくる大人もいて困りました。

『雪灯り・・・灯りで乾杯！』

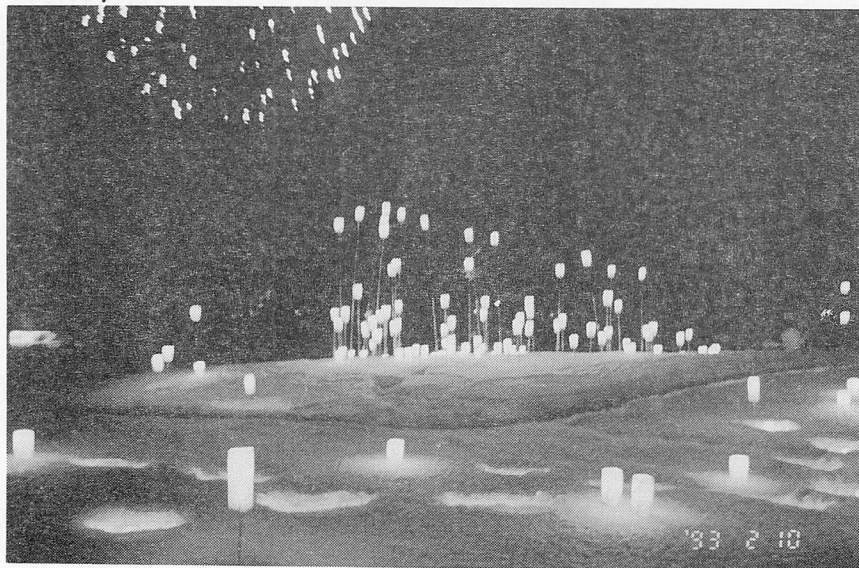
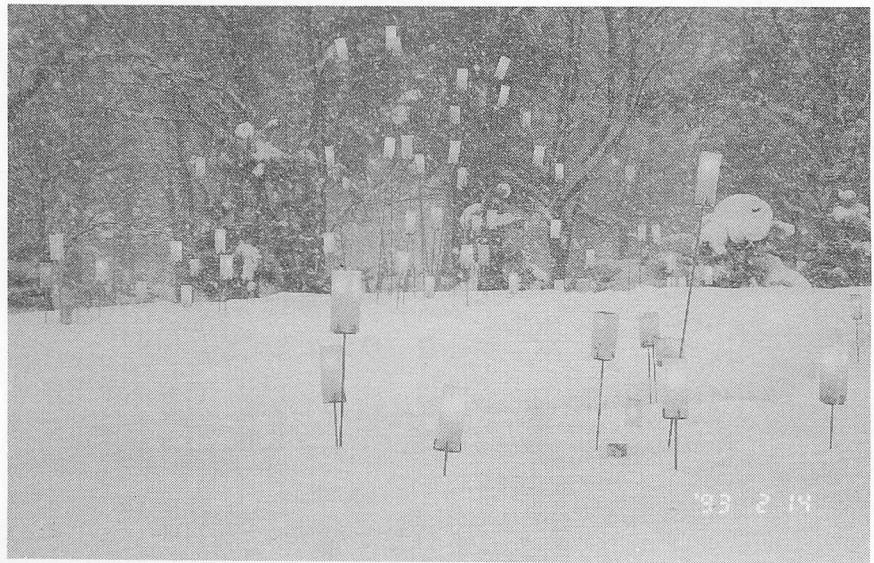
キャンドルは30cm、45cm、60cm、90cmのスティックをつなぎあわせて最高で、2m70cmの高さまでかけることができました。

高さを違えることによって立体的な演出ができ、レイアウトの可能性が広がります。



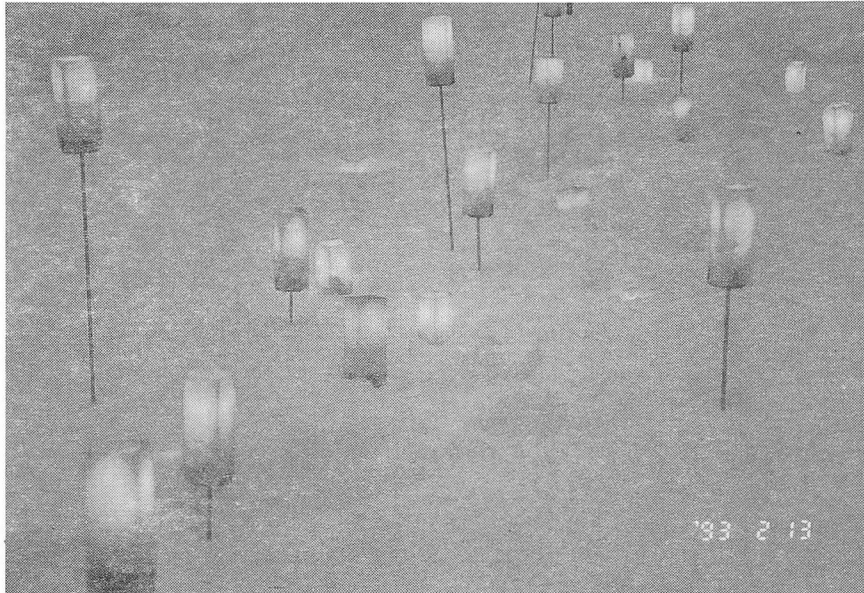
風に長いスティックが植物のようにゆれます。

雪が降っています。
少々の雪でもキャンドルは
消えることなく
けなげに灯っています。



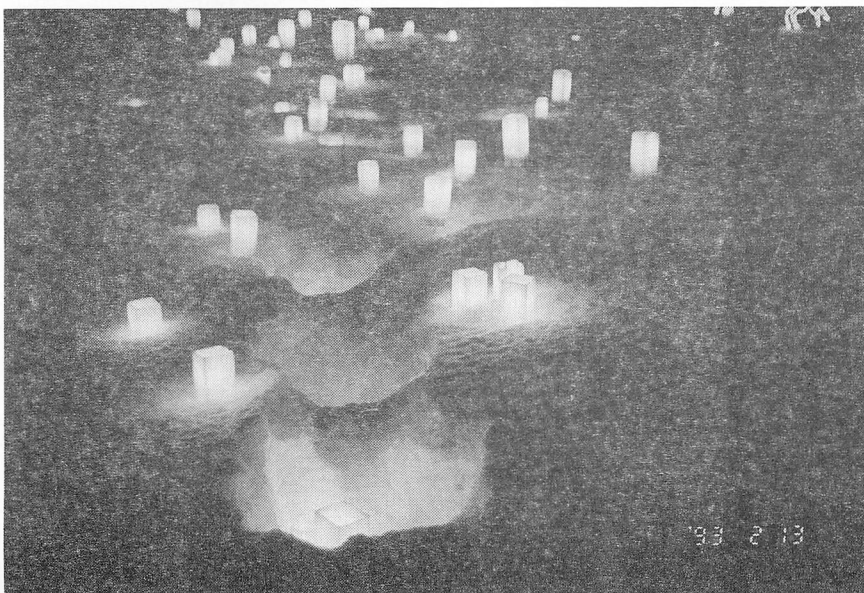
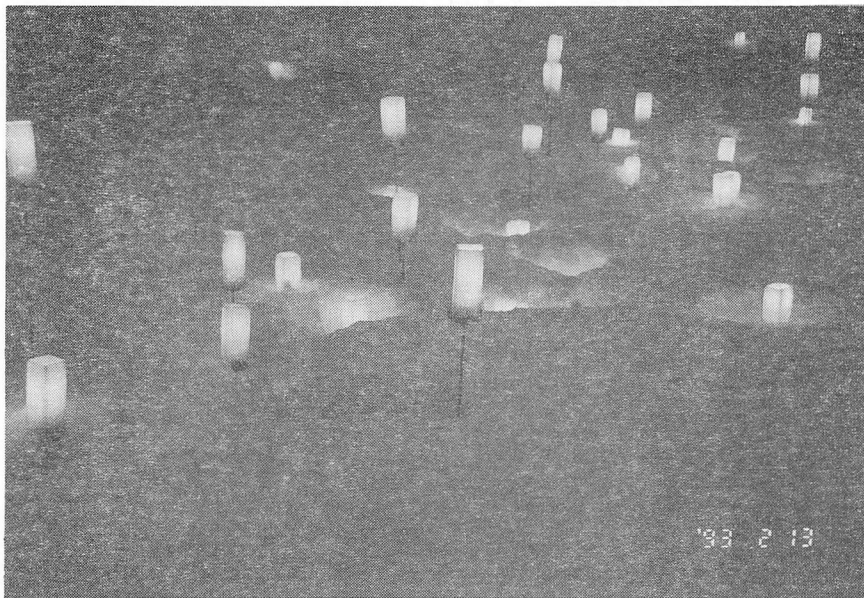
晴れた夜
空には花火が上がっています。

『雪灯り・・・灯りで乾杯！』



薄暮から闇へ

時間の経過によってかわる
雪とあかりの表情



『北都あさひかわ夢灯り』

1993. 8. 6 (土)

旭川・七条緑道5～8丁目

『 夢灯り 』

ひとりひとりが土をこねて作った 陶器のキャンドルスタンドを持ち寄り、夏の一夜、緑道の芝生の上に 灯りの街をつくります。（世界でたったひとつ、わたしの夢灯り）

夢灯りはそれぞれが思いを込めて手作りしたものですので、それだけでもぬくもりを感じさせますが、ゆら薬をかけないで焼いているので、あかいあかりを透し、見る者の心を温かく和ませてくれます。

作者の手のアトが、見る者に伝わってくるようでほのぼのとします。

雪と寒さで外へ出歩く機会が少なくなる冬ですが、こういう時に土をこねてキャンドルスタンド作りをするといふと思うのです。

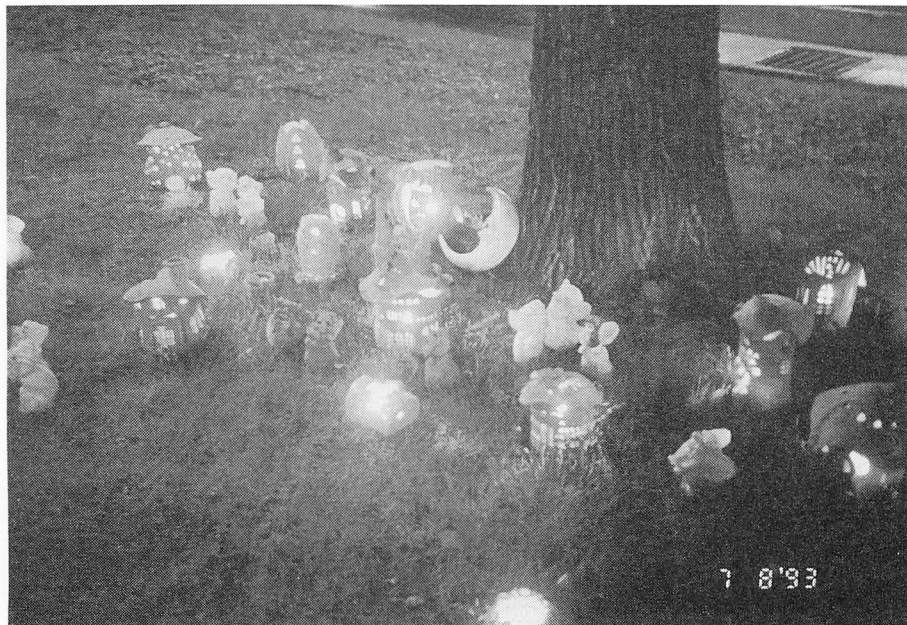
初めて粘土に触れる人でも3～4時間で作り上げることができます。

そうして作ったキャンドルスタンドを、夏の夢灯りの日に緑道に持ち寄ってあかりを皆で楽しむのです。

『 北都あさひかわ夢灯り 』

1993. 8. 6 (土)

旭川・七条緑道5～8丁目



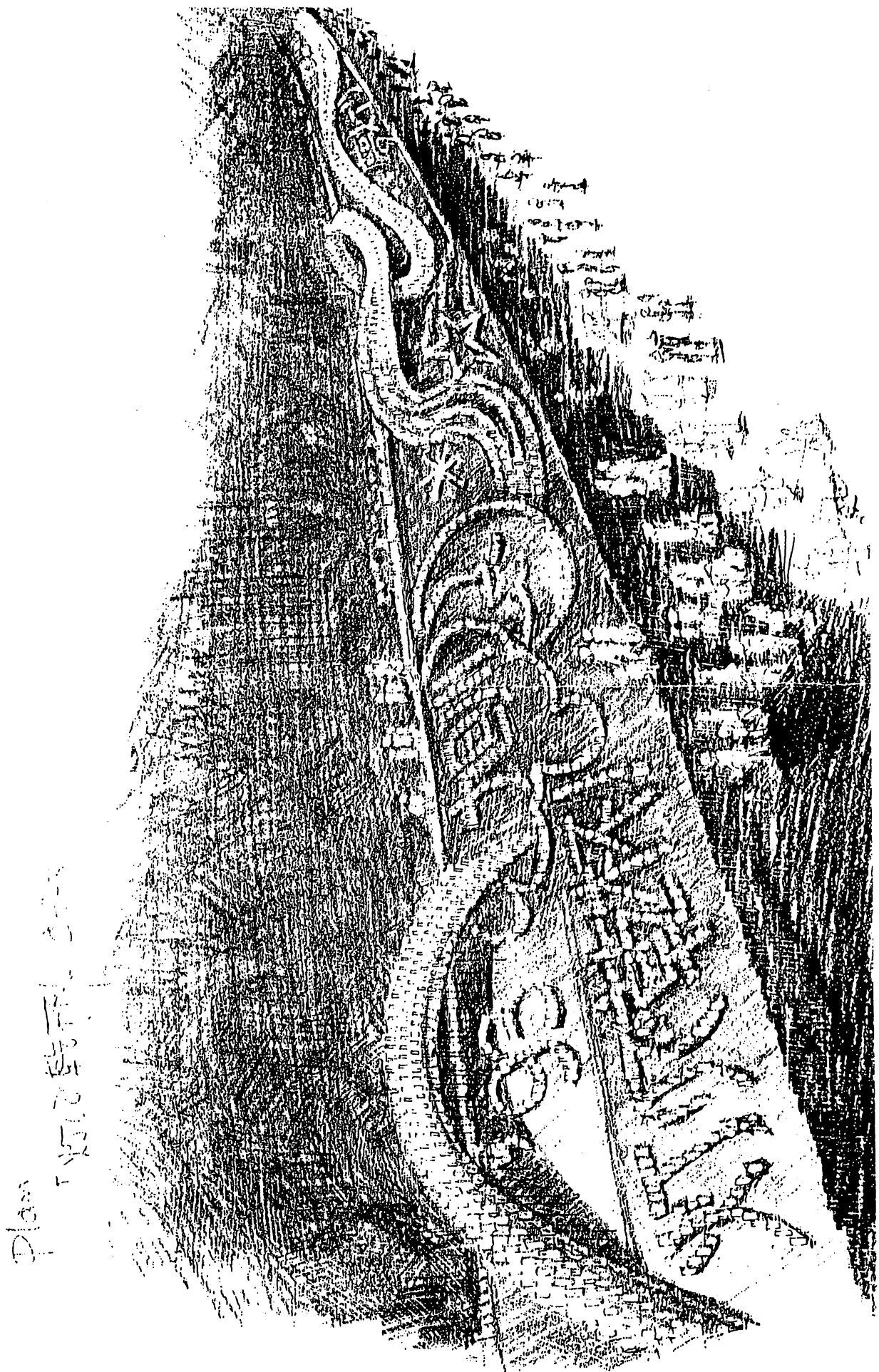
一軒の家にみだててレイアウトしたキャンドルスタンドからは、あたたかいあかりがこぼれます。

『灯りて乾杯！』

1993. 8. 7

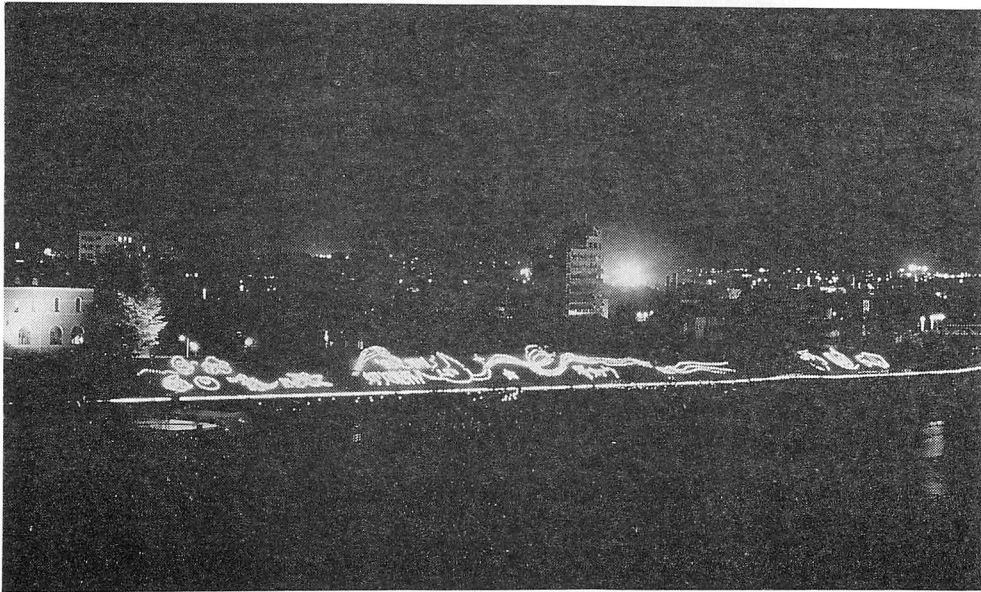
旭川・石狩川右岸

リベライン旭川パーク・ドリームランド



Handwritten text, possibly a date or identifier, located on the left side of the image. It appears to be written vertically and includes the word "Dion" at the top.

『あさひかわ夢灯り 灯りで乾杯！』



1993. 8. 7

旭川・石狩川右岸 リベライン旭川パーク ドリームランド

*灯りで乾杯！実行委員会組織の中で、点灯虫の会は全体のアートディレクション、キャンドルのレイアウトデザイン、キャンドルの制作と指導、参加のキャンペーンを担当しました。

*旭川市内を流れる石狩川の河川敷で、堤防の斜面を利用し、開発したスティックや補助金具でキャンドルを設置しました。

*メインテーマを旭川の七夕とし、天の川、虹、月、星、雲をキャンドルで描きました。

*企業や団体が斜面に自分たちで考えた図案をレイアウトしました。（参加7団体）

*フラットな面では、キャンドルの灯りの川＝旭川 をつくりました。

終了前30分で、「灯りで乾杯！」という文字以外の斜面のキャンドルを人力で移動し一本の長い灯りの川をつくりました。（静から動へ）

灯りの川の全長・・・実測で636.9m

*キャンドル参加本数・・・10,420本

キャンドル制作講習会

*メンバーがキャンドルの作り方を教えました。

旭川ゾンタクラブ	7/14
上川市庁	23
旭川開発建設部	23
たくぎん旭川支店	27
恵泉会病院	28

参加呼び掛け・キャンペーン

*市民にキャンドルの作り方を知ってもらい、イベントに参加するよう呼び掛けました。
*テントでキャンドル制作を実演しながら、呼び掛けのちらしも配布しました。

丸井今井前広場	7/19. 20
緑ヶ丘 地域の祭の中で	23. 24
旭川ライブジャム	8/1
(江丹別・若者の郷)	

キャンドル手作り工房を設置

旭川七条緑道6丁目
6/18～8/31

*アルバイトの人に常時一人は工房にいてもらうようにしました。(10時～20時)

6/26～8/9 延べ599.5時間

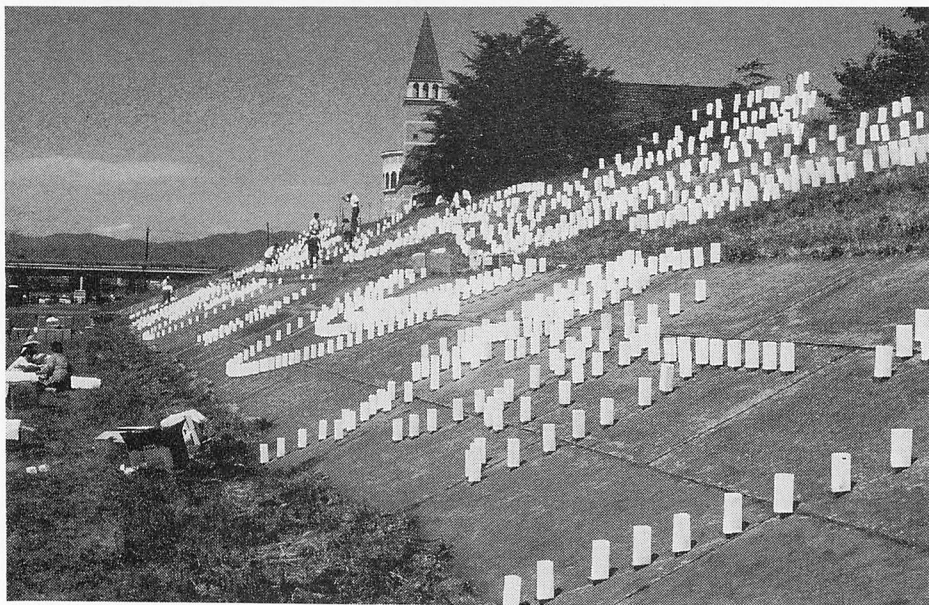
- ・依頼されたキャンドルの制作作業
- ・メインブースのキャンドルの色付け作業
- ・キャンドルの材料の保管
- ・キャンドルの材料渡し

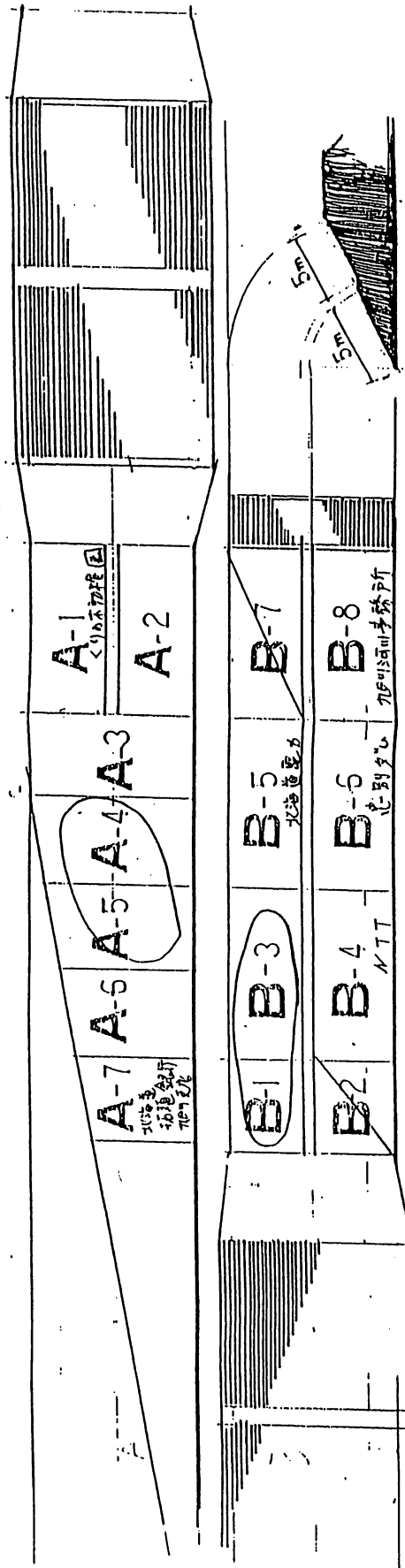
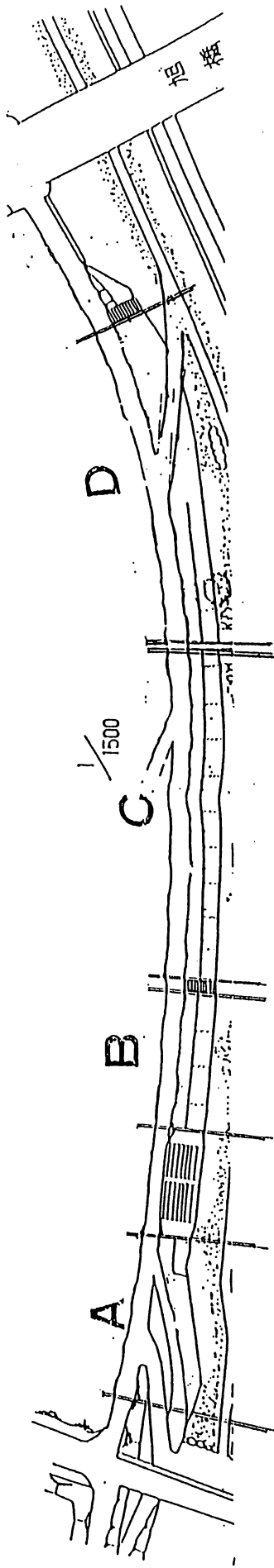
*ボランティアでたくさんの方の協力がありました。

『灯りで乾杯！』



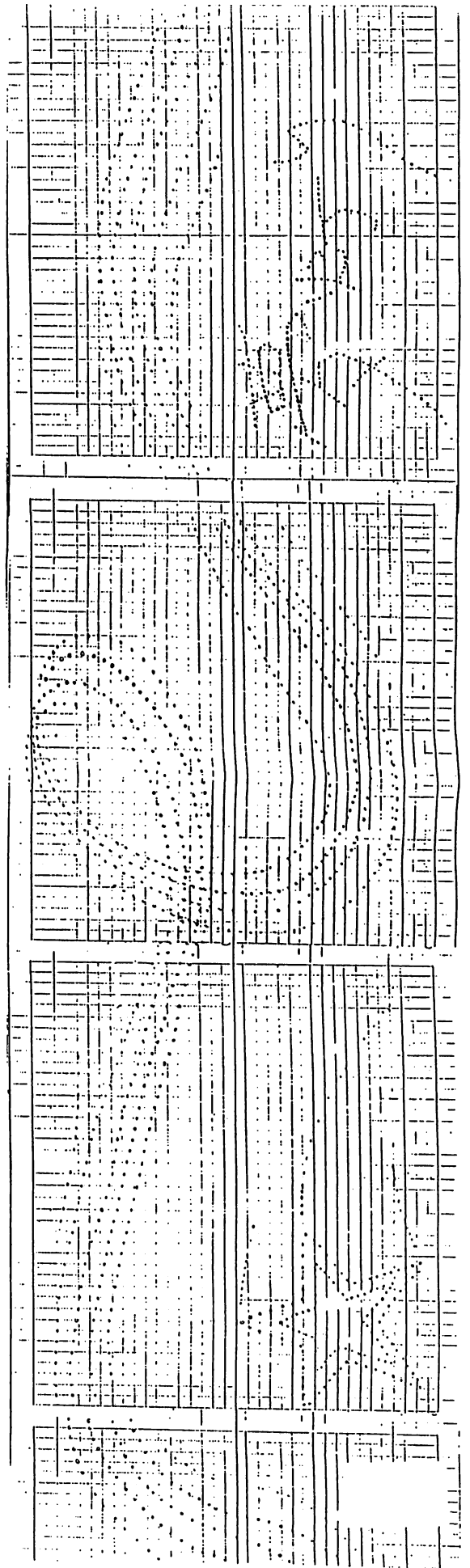
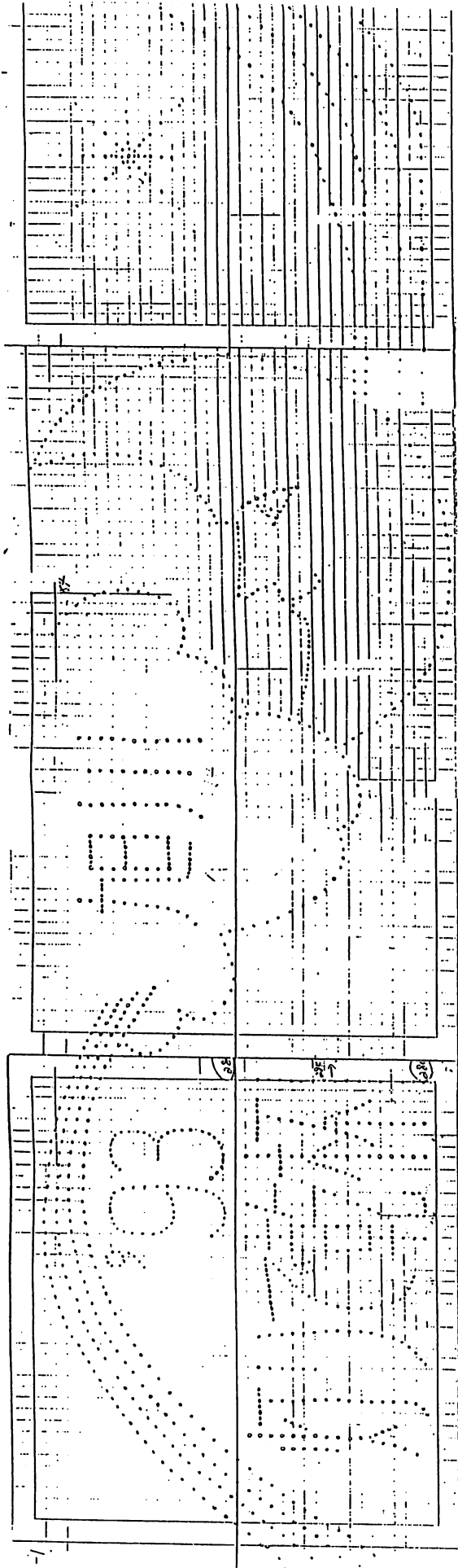
斜面の芝の部分には、スティックでキャンドルを立てていきます。
コンクリート部分には、補助金具を使ってキャンドルを置いていきます。

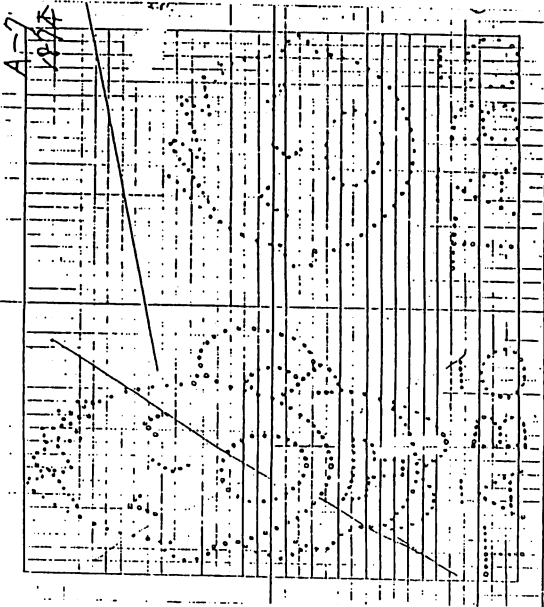




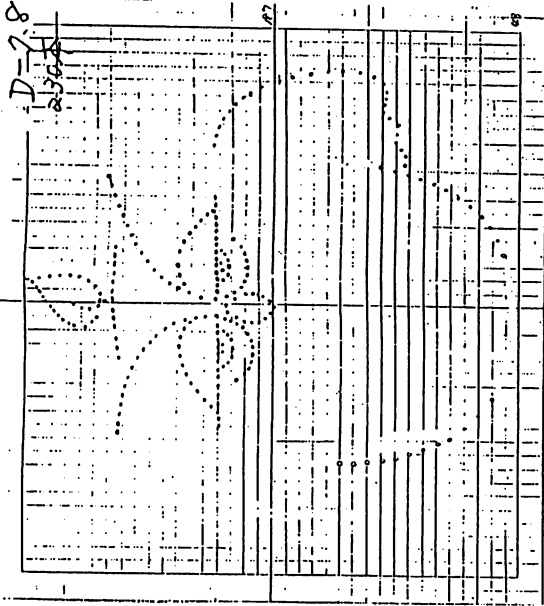
C-1	C-3	C-5	C-7	C-9	C-11	C-13	C-15	C-17	C-19
C-2	C-4	C-6	C-8	C-10	C-12	C-14	C-16	C-18	C-20

	D-5	D-7	D-9	D-10	D-11
	D-6	D-8	D-9	D-10	D-11

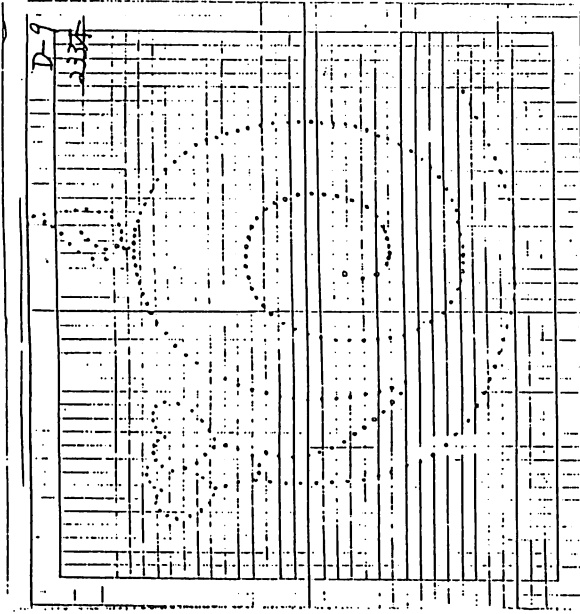




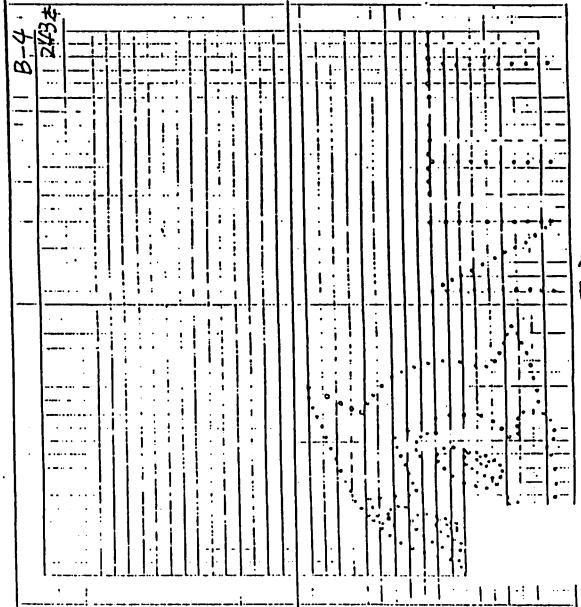
(株)北海道拓殖銀行 旭川支店



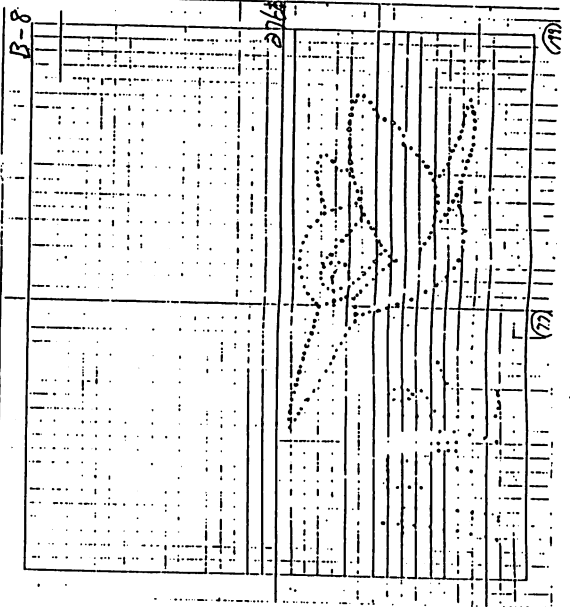
点灯虫の会



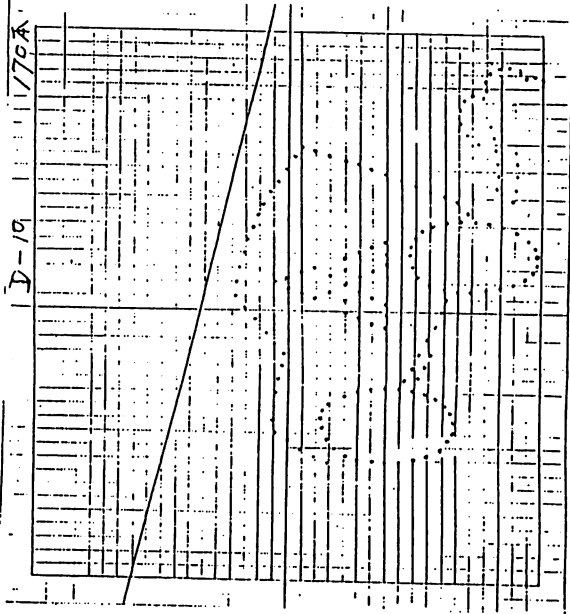
ファンクラブ協会



NTT 旭川支店

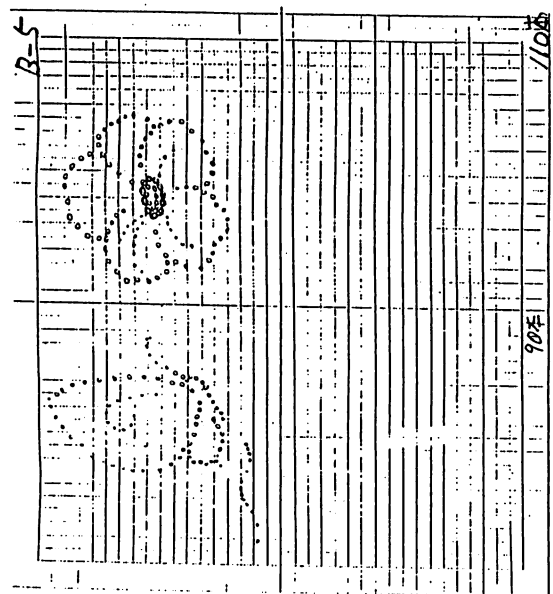


旭川河川事務所

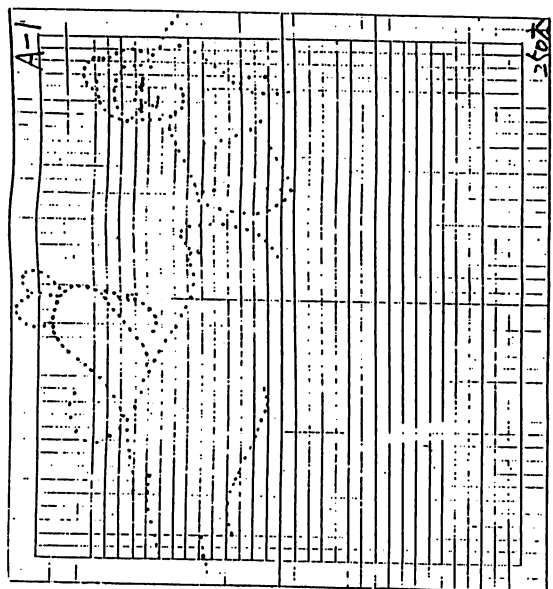


旭川三菱自動車販売(株)

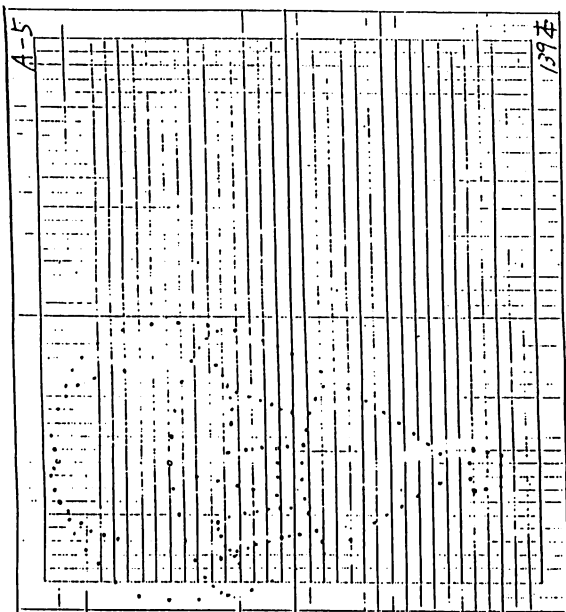
図件参加



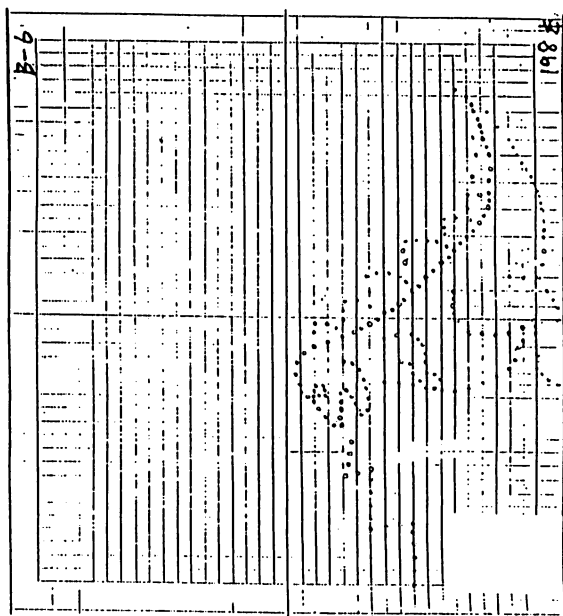
北海道電力(株)旭川支店



くりの木幼稚園



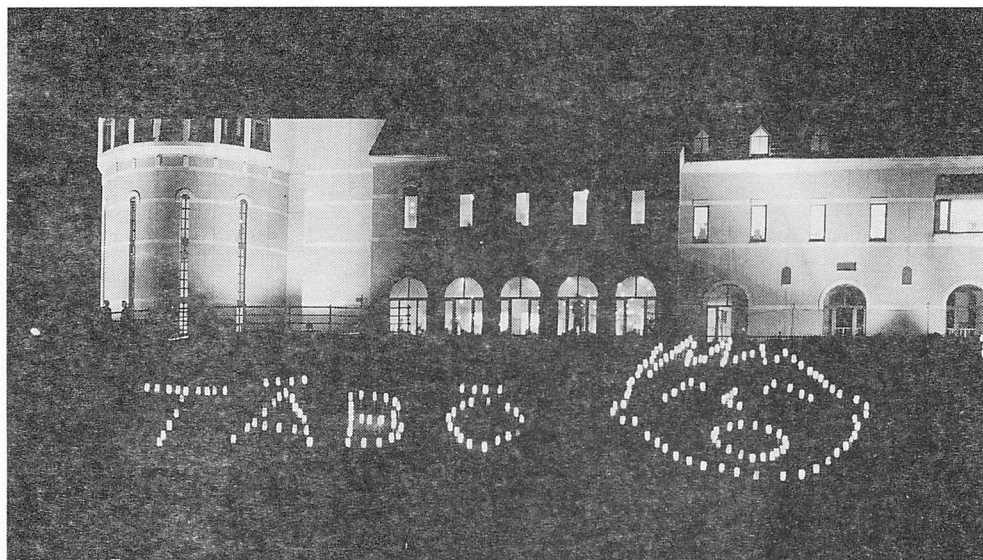
旭川パルーンクラブ



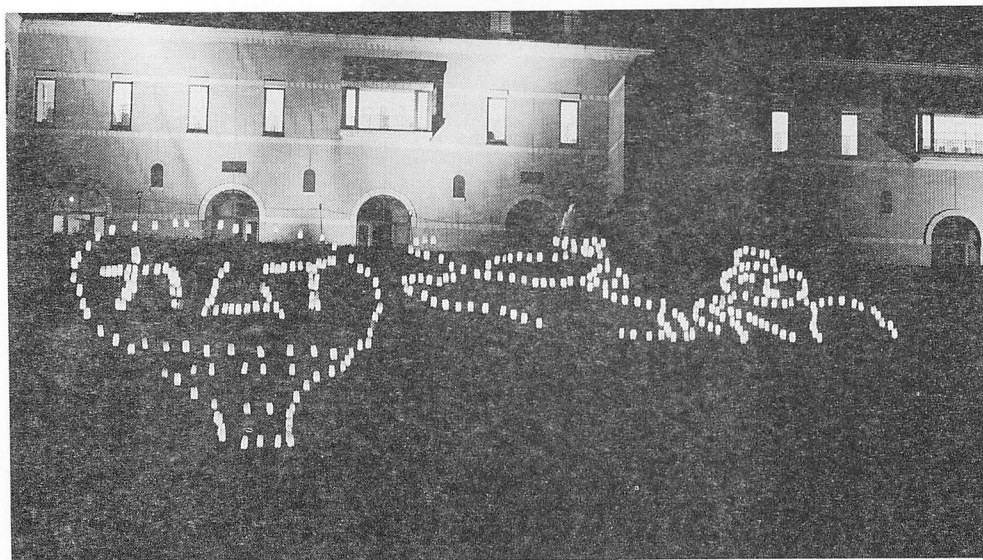
忠別町

『灯りで乾杯！』

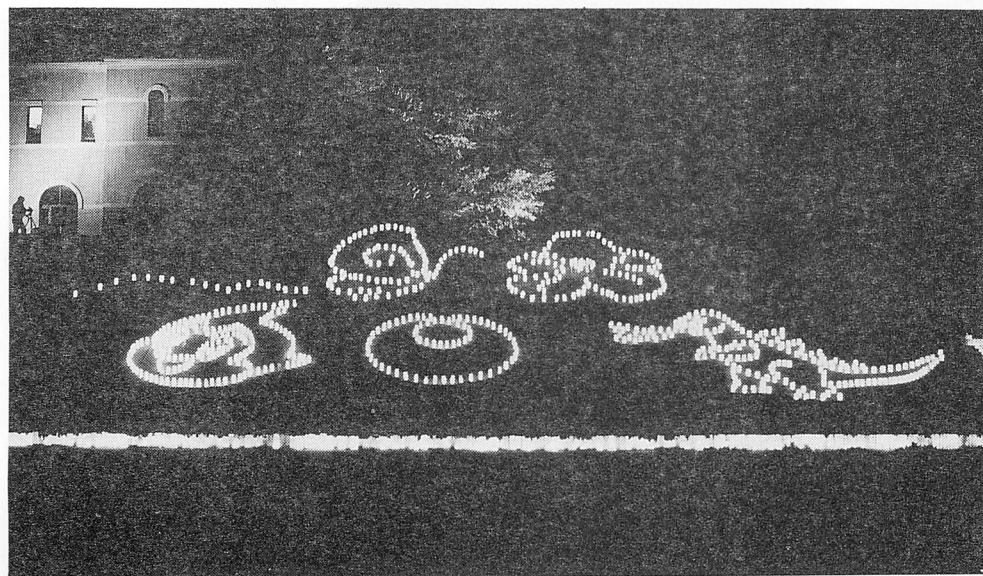
団体参加の部分で、それぞれがデザインした灯りの絵です。



北海道拓殖銀行旭川支店



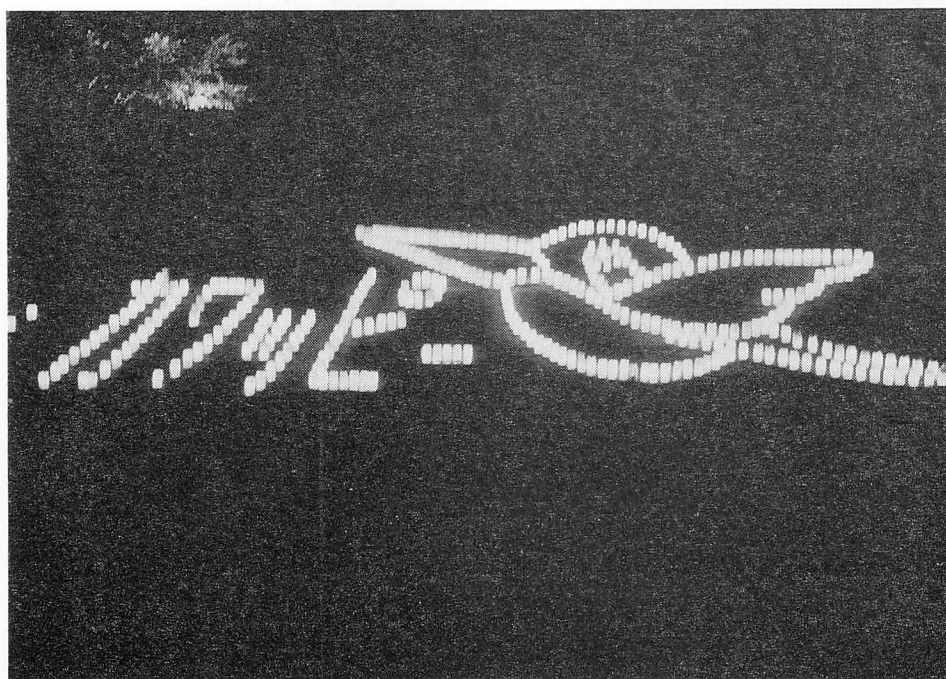
旭川バルーンクラブ
くりの木幼稚園



北海道電力旭川支店
N'TT旭川支店
忠別ダム

『灯りで乾杯！』

団体参加の部分で、それぞれがデザインした灯りの絵です。



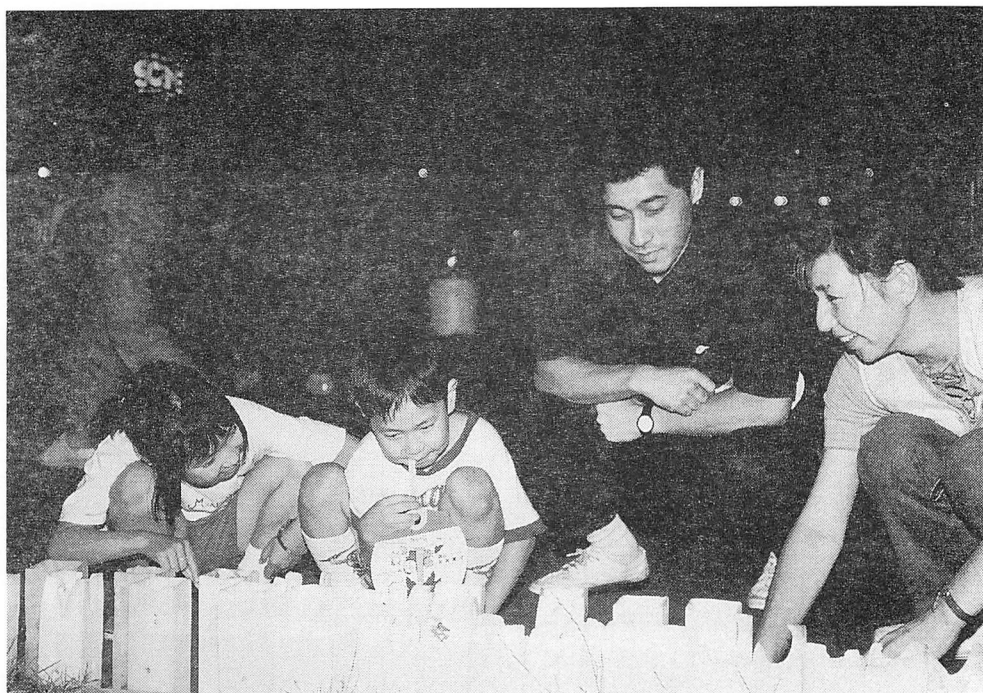
旭川河川事務所



点灯虫の会
キャンドルクラフト協会
旭川三菱自動車販売（株）

川面にキャンドルのあかりが幻想的にゆれて映ります。

『灯りで乾杯！』



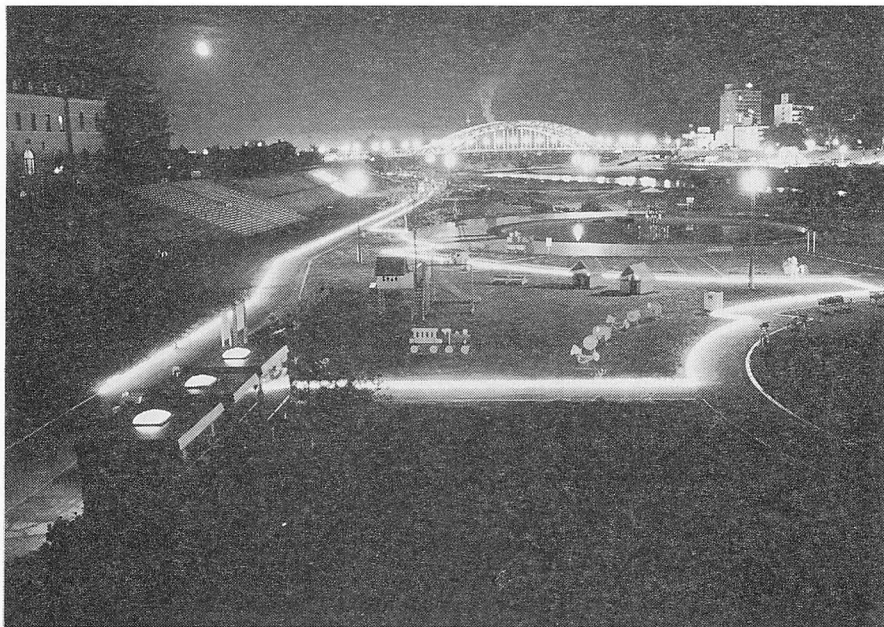
子どもたちの瞳には ふるさとのあたたかい灯りとして 映っていることでしょう。



キャンドルに油性のマジックや、水性のアクリル絵具、クレヨンなどで楽しい絵や、お願い事を書いてとむすと、お願いが叶うような気がします。（丁度七夕の短冊のように）

「灯りで乾杯！」

終了30分前、人の手から人の手へ「灯りで乾杯！」の文字の部分を残して、斜面のキャンドルをすべて移動して長く並べかえ、「灯りの川」をつくりました。



「灯りで乾杯！」では対岸の盆踊りの太鼓や音楽がBGMでした。この灯りを見るにはどんな音楽もいらぬような気がします。遠くで聞こえる街の音や子どもたちのざわめき、川の流れ、そんな音がふさわしいと思いました。

今回の研究期間は93年1月～9月となっていますが、点灯虫の会ではそれ以降もキャンドルをともすイベントをしています。

年間を通しての活動としてみていただきたいので、93年10月以降の「イブの夢灯り」と『雪の夢灯り』ものせました。

『イブの夢灯り』

1993. 12/20～24

旭川市役所前広場

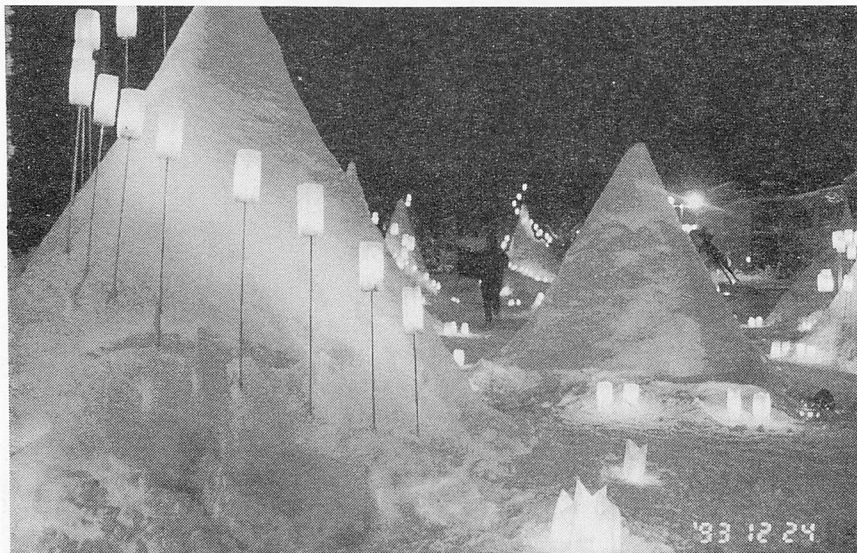
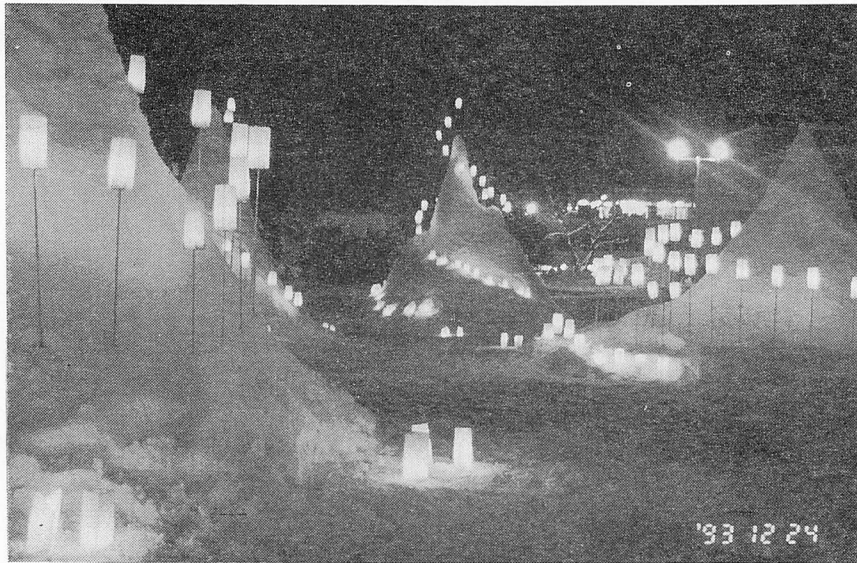
『雪の夢灯り』

1994. 2/8～13

旭川・七条緑道5～7丁目

『イブの夢灯り』

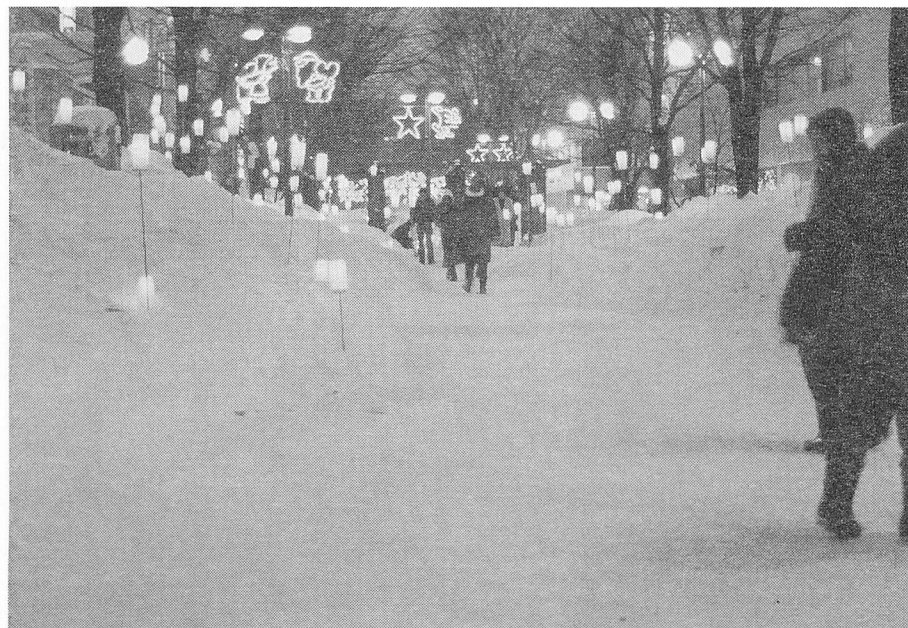
大雪連峰にみたてて作った円錐形の雪像 大小15基のまわりに キャンドル500個を
置きました。



光と影のハーモニー

『雪の夢灯り』

緑道（5. 6. 7丁目）に積もった雪に 少しでも手を加えてキャンドルを置いていきました。1町内ごとに実験的に雪とキャンドルのレイアウトを変えてみました。



スティックだけ立てておき、あかりのついたキャンドルを通りがかりの人に運んでもらい、スティックに置いていってもらったりしましたが、大変喜ばれました。

歩道の両わきにスティックを使ってキャンドルを立てていきました。



藤だなの下に雪のかたまりをつみあげて かたまりとかたまりの間に隠れるようにキャンドルを置いていきました。



藤だなの下は 雪のかたまりをつみあげて、かたまりの間にキャンドルを置きました。

歩道の脇にスティックを立ててキャンドルを置いていきました。

(5丁目寄り)

歩道に雪山をつくり、道の部分を蛇行させて見通しの良いところと悪いところを意識的に作り出しました。

雪山のところどころにキャンドルを置きました。



雪山にスティックを立てて、キャンドルを目線より上にもレイアウトしました。



『雪の夢灯り』

7丁目

藤だなの下は雪のかたまりをつみ上げ、間にキャンドルを置きました。

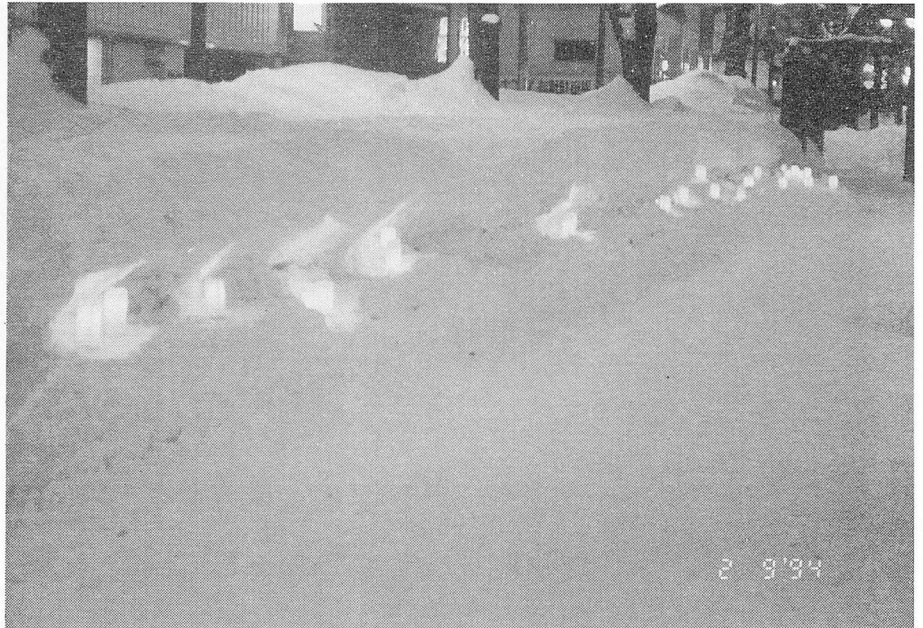
歩道の両側の雪壁をけずり、上部はきれいに面取りして人工的な感じを出しました。





キャンドルの周囲の雪の壁が
ポオッとあかるくなり、
影の部分と
美しい色調をつくっていました。

磨崖仏のように
壁に置かれたキャンドル



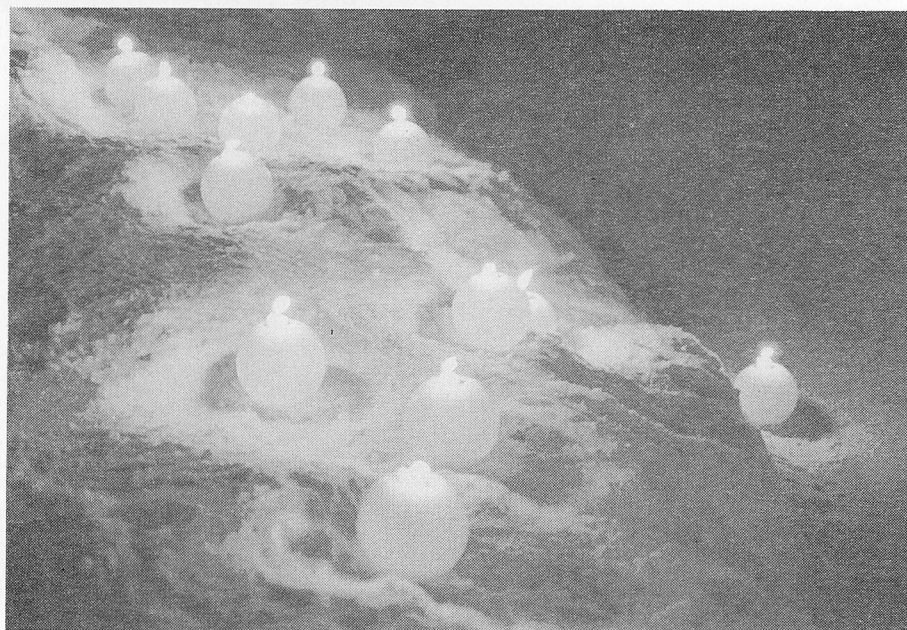
雪のかたまりの間から
漏れるあかり

山に咲いている花のような
キャンドルのあかり



あかりをじっと
見つめている女の子

イベントの最終日、
球形のキャンドルを
6丁目でともしました。



ま と め

欧米ではキャンドルというと、祭壇のローソクのように炎が見える灯しかたが一般的ですが、日本では古くから雪洞^{ゆきほり}や、あんどん、雪見障子などのように間接的にあかりをとりいれることが好まれてきました。

私たちが手がけている牛乳パックを利用して作るこのキャンドルは、炎が直接見えず、蠟の箱全体が明るく輝くので、間接的なあかりを好む日本人の感性に合っています。

春夏秋冬、あらゆる場面でキャンドルのあかりはすばらしい効果をみせてくれます。スイッチオンでともされる電気と違い、キャンドルは人の手によって炎がともされます。ともす人の想いと、ゆれる炎、生きているあかりに私たちは感動します。

「まず、キャンドルを作ってみよう。」　そこから始まりです。

「自分で作ってみたら、次に誰かに伝えよう。」

一人でも多くの人に、手作りする楽しさと、キャンドルの持つ温もりを知ってもらい、仲間を増やしていきたいと思えます。

皆、何かやりたいという気持ちは持っています。でも、何をやればいいのか、具体的なものが見つけられずにいる状態ではないかと思えます。

何かに参加することで、色々な問題意識をもち、どうしたら住み良い素敵な街になるかという事を考え、行動していくことができると思えます。

皆のエネルギーが集まれば、「灯りの街＝旭川」として全国で通用する日も、そう遠くはないと思うのです。

チュアペツ ―旭川(日出る川)キャンドルのあかり

『あかりの街 ―旭川』

『点灯虫の会』

活 動 内 容

(参考資料)

『夢灯り』発想の原点

1990年2月8日 「一晩だけの贈り物」

旭川・七条通6丁目ふりーたいむ 前にて、
北の遊星人から贈られたアイスクャンドル13個と、
陶器のキャンドルスタンド6個に、あかりを灯した。

〔下川のアイスクャンドルに対して、旭川オリジナルのあかりは何かと考えた時、陶芸が盛んな旭川なら、陶器でキャンドルスタンドをつくって灯してはどうかと、北窓窯の吉田時彦さんに制作をお願いした。〕

冬の日、アイスクャンドルを並べ、揺らめく灯りをみつめていた。灯りの優しい揺らめきが、夏の夜の思いを募らせた。子供の頃の、夏の夜に灯した七夕の灯り。あの懐かしい思いを夢灯りとしてキャンドルに灯したい。

楽しい、面白い、ユニークなデザインを楽しみながら手作りしたキャンドルスタンドを七条緑道に並べて、イルミネーションの灯りとともに、夢のあるファンタジーを作りだしたい。

あなたの夢灯りは何ですか？

1 9 9 0 年活動報告
(平成2年)

8 / 1 2 「北都あさひかわ夢灯り」

* 旭川開基百年イベント「日本のまつり・旭川」にあわせて実施

* 場所・旭川七条緑道6～8丁目

夢灯り 900個点灯

アイスクャンドル(下川より)点灯

* JR旭川駅構内 —— 夢灯り30個が灯る。

主催：北都あさひかわ夢灯り実行委員会

8 / 特別養護老人ホーム緑風苑の盆踊りで夢灯りが灯る。

1 2 / 2 3 北門信川金庫(滝川)の「クリスマス会」で夢灯りが70個灯る。

1 9 9 1 年活動報告書

(平成3年)

- 2/11 「北都あさひかわ夢灯り '91・冬」
*旭川冬まつり期間にあわせて実施
*場所・旭川七条緑道6丁目
夢灯り 200個点灯
夢灯りトーチ大小 125本点灯
アイスクャンドル(下川より) 20個点灯
アイスクャンドル(当麻町市民より) 80個点灯
*らせん形の雪像2基と小さなかまくらをたくさん作ってキャンドル点灯

主催：北都あさひかわ夢灯り実行委員会
- 2/22 「アイスクャンドルフェスティバル」(下川)
夢灯り50個点灯参加
- 4/12 「札幌・知事公館に夢灯りを寄贈」
夢灯り20個、キャンドル48個を知事婦人に手渡す。
公館前庭で夢灯り20個点灯
- 7/26～8/4
「道庁赤レンガ音楽祭」に参加(札幌)
夢灯り100個が10日間灯る。——夢灯り灯人
- 8/4 「'91夏・北都あさひかわ夢灯り」
*場所・旭川七条緑道5～7丁目
夢灯り 500個点灯
アイスクャンドル(下川より)点灯
*JR旭川駅構内 ——夢灯りが灯る。
*同時点灯 ——岩手県滝沢村、美瑛、滝川、中国黒龍江省
中国領事館
- 8/ 特別養護老人ホーム緑風苑の盆踊りで夢灯りが灯る。
- 9/16 「ツインハーブ橋渡橋式」
*夢灯り 200個点灯

10 / 7 「川と水辺のフォーラム」(札幌)の外国からの講師の方7人に夢灯りを贈る。

12 / 岩手の夢灯りにキャンドルスタンドを制作して協力

12 / 24 「夢灯り」

* JR旭川駅前で盛岡の「夢灯り」を応援して同時点灯する。

(となかいの引く木そりに夢灯りを乗せて灯りのプレゼント)

夢灯り 300個展示 200個点灯

*キャンドルクラフト協会からキャンドル300個寄付

*盛岡の夢灯りとNHKが同時生中継

1992年活動報告

(平成4年)

- 2 / 「あさひかわ雪あかり '92」で、雪玉らんたんの制作に協力
- 2 / 2.1 アイスキャンドルフェスティバル (下川)
*旭川キャンドル 100本参加点灯
- 4 / 1 年間の夢灯りの活動を支える会として「点灯虫の会」を設立
会員を全国から募集
- 4 / 16 「夢灯りフォーラム」 北都あさひかわ夢灯り運動拡大検討事業
(プロジェクトネクスト — はまなす財団)
〔「生活大国」新しいまちづくりの視点〕
講師：阿座上 洋吉
フォーラム 100名出席
場所・ニュー北海ホテル
- 7 / 11~12
丸井今井前広場で「灯りで乾杯！」のキャンドル制作、参加募集キャンペーン
- 7 / 22 牛別川にてキャンドル点灯リハーサル (雨天)
_休
- 7 / 24~25
緑ヶ丘プラタナス祭りで「灯りで乾杯！」キャンドル制作、参加募集キャンペーン
- 7 / 23~8 / 1
「道庁赤レンガ音楽祭」に参加 (札幌)
夢灯り150個が10日間灯る。 —— 夢灯り灯人
- 7 / 31 「灯りで乾杯！」実施予定日
石狩川増水のため実施が延期された。 —— 8 / 2に実施決定
- 8 / 1~2
HBCメディアプラザ・おまつりに出展 (テレマート) ?

8 / 1 「'92夏・北都あさひかわ夢灯り」

*場所・旭川七条緑道5～8丁目

夢灯り 400個点灯

キャンドル 150個点灯

全国各地から来旭して参加

・キャンドルクラフト協会(本部 東京) ——20名

倉敷、名古屋、熱海、東京、三重、函館、札幌

・嘉悦女子短期大学陶芸部(東京) ——12名

*同時点灯

北海道新聞旭川支社 ——夢灯り20個が灯る。

JR旭川駅構内 ——夢灯り45個が灯る。

HBCメディアプラザ

道庁赤レンガ音楽祭

石狩町花川北児童館 夢灯りコンサート

「みちのく岩手夢灯り」

「とこなつ奄美夢灯り」

中国領事館、ドイツ、スイス、リヒテンシュタイン、ニュージーランド、中国黒龍江省

8 / 2 「リベライン旭川フェスティバル「灯りで乾杯！」」

旭橋誕生、牛朱別川通水60周年記念行事

場所・リベライン旭川パーク、ドリームランド(石狩川右岸)

キャンドル 10,112本 996.0m

参加 個人1,478人 団体102

8 / 20 特別養護老人ホーム緑風苑の盆踊りで夢灯りが灯る。

9 / 11～13

「'92遊雪・利雪・克雪国際見本市」(新潟市 ハイブ長岡)

夢灯り、キャンドル出展

9 / 12 「創作舞踊 夢灯り」(東京 草月ホール)

踊:萩井 栄秀 演出:駒井 義之

「夢灯り対談」嘉悦 康人、黒田 正子、福富 太郎、柳沢 紀夫

10 / 10 北海道東海大学建学祭でキャンドル700本が灯る。

10 / 30 ラトビアの文化大臣ライモンズパウルズ氏に旭川キャンドル12本と、夢灯りを贈る。

10 / ギネスブック本部（ロンドン）に『灯りで乾杯！』世界一長いキャンドル
で記録申請

11 / 9 ~ 「旭川からラトビアに灯りのプレゼント」キャンペーン
キャンドル一本10001円で参加を募る。
12/3ラトビアのパウルズ氏宛にキャンドル1,000本を郵送
（盛岡からの夢灯り2個を含む）
加藤登紀子さんもキャンドルにメッセージをかいて参加

11 / 30 「加藤登紀子コンサート」（旭川市民文化会館）
ステージでキャンドルを一本灯して「100万本のバラ」を歌う。

12 / 20 ~ 25

「灯りで乾杯！旭川キャンドルツリー」

*場所・旭川市役所前広場

クリスマスツリーをイメージした雪像をつくり、キャンドル
を点灯

21日 キャンドル265本点灯

22日 風雪のため点灯中止

23日 キャンドル420本点灯

24日 キャンドル512本点灯 点灯式（花火、聖歌合唱）

同時点灯 ——「岩手夢灯り・光のページェント」

——ラトビアのリガでのキャンドル112本

同時点灯を呼びかけ

25日 キャンドル560本点灯

12 / 31 ~ 1 / 1

「梵鐘とシンセサイザーの出会い」好蔵寺（東川）

旭川キャンドル点灯

1 9 9 3 年 活 力 幸 祉 社
(平成5年)

2 / 1 0 ~ 1 4

「雪あかり・・・灯りで乾杯！」

*「あさひかわ雪あかり'93」に参加

*場所・常盤公園

*キャンドルスティックを開発、使用。

10日 キャンドル 200本点灯

11日 キャンドル 240本点灯

12日 吹雪で点灯中止

13日 キャンドル 200本点灯

14日 キャンドル 280本点灯

2 / 1 1 旭川南ロータリークラブ20周年記念式典 (ニュー北海ホテル)
旭川キャンドルが灯る。

2 / 1 3 アルペンスキー世界選手権表彰式 (帯石)
旭川キャンドル参加点灯

2 / 2 0 「アイスクヤンドルフェスティバル」 (下川)
旭川キャンドル参加点灯

7 / 1 9 ~ 2 0

丸井今井前広場で「灯りで乾杯！」のキャンドル制作、参加募集キャンペーン

7 / 2 3 ~ 2 4

緑ヶ丘で「灯りで乾杯！」キャンドル制作、参加募集キャンペーン

7 / 2 8 「道庁赤レンガ音楽祭」オープニング
夢灯り100個点灯

8 / 1 旭川ライブジャム (江丹別) で「灯りで乾杯！」参加募集キャンペーン

8 / 3 旭川観光顕功奨励賞を受賞 (黒田 正子)

- 8 / 7 『北都あさひかわ夢灯り』
 ＊場所・旭川七条緑道5～8丁目
 夢灯り 450個点灯
 キャンドル 150本点灯
 紙芝居、野点、落語、板絵、ろーそく出せ
 同時点灯
 盛岡、浦河、軽井沢
- 8 / 8 あさひかわ夢灯り「灯りで乾杯！」
 ＊場所・リベライン旭川パーク、ドリームランド（石狩川右岸）
 キャンドル 10,420本点灯 636.9m
 夢灯り 200個点灯
 アイスキャンドル（下川より）10個点灯
 ＊買物公園でキャンドル140本点灯
- 8 / 19 特別養護老人ホーム緑風苑の盆踊りで夢灯りが灯る。
- 9 / 30 『緑道でキャンドルと夢灯りを点灯』
 NHK函館取材 ——土曜フォーラム（11/20）
 石井幹子さん（照明デザイナー）からインタビューを受ける。
- 10 / 11 北海道東海大学建学祭でキャンドル500本が灯る。
- 11 / 19 「NHKニューフロンティア大賞」 佳作入選
- 12 / 4 札幌ファクトリーえんとつ広場で下川のアイスキャンドルと一緒にデモン
 ストレーション
 旭川キャンドル 70本点灯
- 12 / 20～24
 「イブの夢灯り」
 ＊場所・旭川市役所前広場
 雪山連峰をイメージして雪像を作り、キャンドルを灯した。
 20日～24日キャンドルを灯す。（21日雨のため点灯中止）
 キャンドル点灯850本
 ＊同時点灯
 旭川中央郵便局、NTT旭川支店
 盛岡、札幌、東京（青山・原宿）、北九州、松戸
- 12 / 31 好蔵寺（東川）で旭川キャンドル150本が灯る。

1 9 9 4 年活動報告

(平成6年)

1 / 1.5 成人式 (旭川市民文化会館)

会場へのアプローチで旭川キャンドルが灯る。

2 / 8～13

「雪の夢灯り」

*場所・旭川七条緑道5～7丁目

旭川冬まつりの会場、買物公園と常磐公園を灯りにつなぐ
緑道でキャンドルを点灯

8日～13日 6日間でキャンドル2250本点灯

A Study of the Lighting Effects of Open-Air Candles : Report on Community Making
Activities By 'Ladybirds Association in Asahikawa City / Noted by Hiroshi MOCHIDA
/ REC TECHNICAL REPORT, No.0012[SS360] January,1995, HOKKAIDO RESEARCH
CENTER OF ENVIRONMENT AND CULTURE / SEISHU GAKUEN, SAPPORO 004
JAPAN.

○執筆者紹介

点灯虫の会

代表：黒田正子 (くろだ まさこ)

旭川に拠点をもつ市民街づくりグループ。
石狩川河畔などでキャンドルを灯し、環
境デザインなどの研究により、手づくり
の運動を展開中。

(解説)

持田 潤 (もちだ ひろし)
静修短期大学教授

平成7年1月31日 発行

編集：北海道環境文化研究センター
発行：(学)静修学園 和野内 崇弘
◎004 札幌市豊平区清田4-1-4-1 ☎(011)881-8844

